

評価実施 平成 29 年度		事務事業マネジメントシート(兼 事務事業コスト計算書)																																																																																																																																																																																																																																																																							
事務事業名	No. 1	下水道施設維持管理事業								←実施計画上の重点項目 重点施策に該当する場合、ここから該当項目を選択してください																																																																																																																																																																																																																																																															
政策名	No. 7	7 都市基盤								所属部	都市整備部	所属課	道路下水道課																																																																																																																																																																																																																																																												
施策名	No. 25	基本施策25 下水道の整備・維持・更新								所属係	下水道工務係	課長名	蛭谷 常久																																																																																																																																																																																																																																																												
予算科目	会計	款	項	目	事業コード	法令根拠																																																																																																																																																																																																																																																																			
事業期間		単年度のみ		☑ 単年度繰返		期間限定複数年度 (昭和46年度 ~ 年度)																																																																																																																																																																																																																																																																			
<p>事務事業の概要(事業の具体的な手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)</p> <p>この事業を開始した経緯(いつ、どのような経緯で開始したか)</p> <p>・下水道管きよ施設(管きよ、ます)の維持管理のための委託及び工事を行う事業。 市内巡回及び通報により管きよのしゅんせつ委託及び補修工事をする。</p> <p>・南部中継ポンプ場の維持管理のための委託(年間委託)及び補修工事を行う事業。 運転管理(維持管理、電気工作物、警備)の委託及び補修工事をする。ポンプ場は平成元年稼働開始(事業費の内訳) 事業費は需用費(光熱水費)、原材料費、役務費、委託料、工事請負費 管きよのしゅんせつ、ポンプ場の運転管理委託及び補修工事に支出される。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																									
<p>1 現状把握の部(PPLAN)(DO)</p> <p>(1) 事務事業の目的と指標</p> <p>① 手段: 平成28年度の実績(平成28年度に行った主な活動を具体的に記載) ・市内巡回及び通報により管きよのしゅんせつ委託及び補修工事。 ・ポンプ場の運転管理(維持管理、電気工作物、警備)の委託、保守点検及び補修工事。</p> <p>① 手段: 平成29年度の事業計画(平成29年度に計画している主な活動を具体的に記載) 28年度と同様</p> <p>② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市内の公共下水道施設(管きよ、ます、ポンプ場) 公共下水道利用者</p> <p>③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) つねに下水がすみやかに流れるようにする。</p> <p>④ 結果: 基本施策の目的や効果を高めるためのこの事業の貢献度 市内全域で、浸水及び公共用水域の水質汚濁を防止することができる。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																									
<p>(2) 各指標等の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>平成25年度 (決算)</th> <th>平成26年度 (決算)</th> <th>平成27年度 (決算)(A)</th> <th>平成28年度 (決算見込み)(B)</th> <th>平成29年度 (当初予算)</th> <th>目標年度 (目標値)</th> <th>差額 (B)-(A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">① 手段</td> <td>活動指標(事務事業の活動量を表す指標)</td> <td>公共下水道管きよのしゅんせつ延長、補</td> <td>8304m、30件</td> <td>8460m、22件</td> <td>9538m、20件</td> <td>7364m、28件</td> <td>10000m、35件</td> <td></td> <td>#VALUE!</td> </tr> <tr> <td></td> <td>南部中継ポンプ場の補修件数</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td></td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">② 対象</td> <td>対象指標(対象の大きさを表す指標)</td> <td>市内の公共下水道管渠延長</td> <td>187,713</td> <td>187,902</td> <td>188,177</td> <td>218,759</td> <td>219,000</td> <td></td> <td>30,582</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水洗化人口</td> <td>74,303</td> <td>74,546</td> <td>74,922</td> <td>75,341</td> <td>75,000</td> <td></td> <td>419</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">③ 意図</td> <td>成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</td> <td>巡回及び通報による不具合対応率</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">④ 結果</td> <td>上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</td> <td>雨水整備率(雨水処理面積/計画面積)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>放流水質のBOD値(水質汚濁量)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>												項目	名称	単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算)	平成27年度 (決算)(A)	平成28年度 (決算見込み)(B)	平成29年度 (当初予算)	目標年度 (目標値)	差額 (B)-(A)	① 手段	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	公共下水道管きよのしゅんせつ延長、補	8304m、30件	8460m、22件	9538m、20件	7364m、28件	10000m、35件		#VALUE!		南部中継ポンプ場の補修件数	1	2	2	1	2		-1	② 対象	対象指標(対象の大きさを表す指標)	市内の公共下水道管渠延長	187,713	187,902	188,177	218,759	219,000		30,582		水洗化人口	74,303	74,546	74,922	75,341	75,000		419	③ 意図	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	巡回及び通報による不具合対応率	100	100	100	100	100		0									0	④ 結果	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	雨水整備率(雨水処理面積/計画面積)							0		放流水質のBOD値(水質汚濁量)							0																																																																																																																																																																								
項目	名称	単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算)	平成27年度 (決算)(A)	平成28年度 (決算見込み)(B)	平成29年度 (当初予算)	目標年度 (目標値)	差額 (B)-(A)																																																																																																																																																																																																																																																																
① 手段	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	公共下水道管きよのしゅんせつ延長、補	8304m、30件	8460m、22件	9538m、20件	7364m、28件	10000m、35件		#VALUE!																																																																																																																																																																																																																																																																
		南部中継ポンプ場の補修件数	1	2	2	1	2		-1																																																																																																																																																																																																																																																																
② 対象	対象指標(対象の大きさを表す指標)	市内の公共下水道管渠延長	187,713	187,902	188,177	218,759	219,000		30,582																																																																																																																																																																																																																																																																
		水洗化人口	74,303	74,546	74,922	75,341	75,000		419																																																																																																																																																																																																																																																																
③ 意図	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	巡回及び通報による不具合対応率	100	100	100	100	100		0																																																																																																																																																																																																																																																																
									0																																																																																																																																																																																																																																																																
④ 結果	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	雨水整備率(雨水処理面積/計画面積)							0																																																																																																																																																																																																																																																																
		放流水質のBOD値(水質汚濁量)							0																																																																																																																																																																																																																																																																
<p>(3) 事務事業コストの推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単位</th> <th>平成25年度 (決算)</th> <th>平成26年度 (決算)</th> <th>平成27年度 (決算)(A)</th> <th>平成28年度 (決算見込み)(B)</th> <th>平成29年度 (当初予算)</th> <th>目標年度 (目標値)</th> <th>差額 (B)-(A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">人に係るコスト</td> <td>正規職員従事人数</td> <td>人</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td>5,400</td> <td>5,400</td> <td>5,400</td> <td>5,400</td> <td>5,400</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>正規職員人件費計(C)</td> <td>千円</td> <td>27,000</td> <td>27,000</td> <td>27,000</td> <td>27,000</td> <td>27,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>再任用職員従事人数</td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>再任用職員人件費計(D)</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>嘱託職員従事人数</td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">物に係るコスト</td> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>嘱託職員人件費計(E)</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>人に係るコスト計(F)</td> <td>千円</td> <td>27,000</td> <td>27,000</td> <td>27,000</td> <td>27,000</td> <td>27,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>物件費</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>うち委託料</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>維持補修費</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>物に係るコスト計(G)</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">移転支出的なコスト</td> <td>扶助費</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>補助費等</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>移転支出的なコスト計(H)</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>支出計(I)=(F)+(G)+(H)</td> <td>千円</td> <td>27,000</td> <td>27,000</td> <td>27,000</td> <td>27,000</td> <td>27,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">収入内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>都支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>分担金及び負担金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料及び手数料</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>千円</td> <td>32,173</td> <td>43,605</td> <td>52,003</td> <td>50,835</td> <td>57,554</td> <td>-1,168</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td>34,708</td> <td>45,174</td> <td>54,011</td> <td>56,358</td> <td>55,465</td> <td>2,347</td> </tr> <tr> <td>収入計(J)</td> <td>千円</td> <td>66,881</td> <td>88,779</td> <td>106,014</td> <td>107,193</td> <td>113,019</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>収支差額(K)=(J)-(I)</td> <td>千円</td> <td>39,881</td> <td>61,779</td> <td>79,014</td> <td>80,193</td> <td>86,019</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源投入割合</td> <td>%</td> <td>-148%</td> <td>-229%</td> <td>-293%</td> <td>-297%</td> <td>-319%</td> <td>#DIV/0!</td> </tr> </tbody> </table>												項目	単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算)	平成27年度 (決算)(A)	平成28年度 (決算見込み)(B)	平成29年度 (当初予算)	目標年度 (目標値)	差額 (B)-(A)	人に係るコスト	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	0	延べ業務時間	時間	5,400	5,400	5,400	5,400	5,400	0	正規職員人件費計(C)	千円	27,000	27,000	27,000	27,000	27,000	0	再任用職員従事人数	人						0	延べ業務時間	時間						0	再任用職員人件費計(D)	千円	0	0	0	0	0	0	嘱託職員従事人数	人						0	物に係るコスト	延べ業務時間	時間						0	嘱託職員人件費計(E)	千円	0	0	0	0	0	0	人に係るコスト計(F)	千円	27,000	27,000	27,000	27,000	27,000	0	物件費	千円						0	うち委託料	千円						0	維持補修費	千円						0	物に係るコスト計(G)	千円	0	0	0	0	0	0	移転支出的なコスト	扶助費	千円						0	補助費等	千円						0	繰出金	千円						0	その他	千円						0	移転支出的なコスト計(H)	千円	0	0	0	0	0	0	その他	その他	千円						0	支出計(I)=(F)+(G)+(H)	千円	27,000	27,000	27,000	27,000	27,000	0	収入内訳	国庫支出金	千円						0	都支出金	千円						0	分担金及び負担金	千円						0	使用料及び手数料	千円						0	繰入金	千円	32,173	43,605	52,003	50,835	57,554	-1,168	その他	千円	34,708	45,174	54,011	56,358	55,465	2,347	収入計(J)	千円	66,881	88,779	106,014	107,193	113,019	0	収支差額(K)=(J)-(I)	千円	39,881	61,779	79,014	80,193	86,019	0	一般財源投入割合	%	-148%	-229%	-293%	-297%	-319%	#DIV/0!
項目	単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算)	平成27年度 (決算)(A)	平成28年度 (決算見込み)(B)	平成29年度 (当初予算)	目標年度 (目標値)	差額 (B)-(A)																																																																																																																																																																																																																																																																	
人に係るコスト	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	0																																																																																																																																																																																																																																																																	
	延べ業務時間	時間	5,400	5,400	5,400	5,400	5,400	0																																																																																																																																																																																																																																																																	
	正規職員人件費計(C)	千円	27,000	27,000	27,000	27,000	27,000	0																																																																																																																																																																																																																																																																	
	再任用職員従事人数	人						0																																																																																																																																																																																																																																																																	
	延べ業務時間	時間						0																																																																																																																																																																																																																																																																	
	再任用職員人件費計(D)	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																	
	嘱託職員従事人数	人						0																																																																																																																																																																																																																																																																	
物に係るコスト	延べ業務時間	時間						0																																																																																																																																																																																																																																																																	
	嘱託職員人件費計(E)	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																	
	人に係るコスト計(F)	千円	27,000	27,000	27,000	27,000	27,000	0																																																																																																																																																																																																																																																																	
	物件費	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																	
	うち委託料	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																	
	維持補修費	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																	
	物に係るコスト計(G)	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																	
移転支出的なコスト	扶助費	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																	
	補助費等	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																	
	繰出金	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																	
	その他	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																	
	移転支出的なコスト計(H)	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																	
その他	その他	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																	
	支出計(I)=(F)+(G)+(H)	千円	27,000	27,000	27,000	27,000	27,000	0																																																																																																																																																																																																																																																																	
収入内訳	国庫支出金	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																	
	都支出金	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																	
	分担金及び負担金	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																	
	使用料及び手数料	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																	
	繰入金	千円	32,173	43,605	52,003	50,835	57,554	-1,168																																																																																																																																																																																																																																																																	
	その他	千円	34,708	45,174	54,011	56,358	55,465	2,347																																																																																																																																																																																																																																																																	
	収入計(J)	千円	66,881	88,779	106,014	107,193	113,019	0																																																																																																																																																																																																																																																																	
収支差額(K)=(J)-(I)	千円	39,881	61,779	79,014	80,193	86,019	0																																																																																																																																																																																																																																																																		
一般財源投入割合	%	-148%	-229%	-293%	-297%	-319%	#DIV/0!																																																																																																																																																																																																																																																																		

2 評価の部(CHECK) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																					
公共関係と性評価	<p>① 公共関係の妥当性</p> <p>☑ 見直し余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映</p> <p>☑ 妥当である ⇒【以下に理由を記入】</p> <p>なぜこの事業を行政が行わなければならないのか?税金を使う必要があるか、民間や受益者ができる事業か?かつ、行政が行うとした場合、国・都が行う事業か、それとも市が行う事業か?</p>																				
有効性評価	<p>② 成果の向上余地</p> <p>☑ 向上余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映</p> <p>☑ 向上余地がない ⇒【以下に理由を記入】</p> <p>成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?</p> <p>③ 廃止・休止の成果への影響</p> <p>☑ 影響無 ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映</p> <p>☑ 影響有 ⇒【その内容】</p> <p>事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?(そもそも、この事業は、施策の目的や公益の増進に役立っているか?)</p> <p>経年で下水道の利用を進めれば詰まり、陥没等が発生し、適切な下水処理ができなくなってしまうため、本事業を廃止・休止することは、浸水及び公共水域の水質汚濁につながる。</p>																				
効率的性評価	<p>④ 類似事業との統廃合・連携の可能性</p> <p>☑ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業)</p> <p>☑ 統廃合・連携ができる ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映</p> <p>☑ 統廃合・連携ができない ⇒【以下に理由を記入】</p> <p>☑ 他に手段がない ⇒【以下に理由を記入】</p> <p>目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?</p> <p>庁内に類似事業はない。 市の道路排水施設(雨水ます)の管理については検討する必要がある。</p>																				
公平性評価	<p>⑤ 事業費の削減余地・歳入の確保余地</p> <p>☑ 事業費削減(歳入確保)余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映</p> <p>☑ 事業費削減(歳入確保)余地がない ⇒【以下に理由を記入】</p> <p>成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)</p> <p>⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地</p> <p>☑ 削減余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映</p> <p>☑ 削減余地がない ⇒【以下に理由を記入】</p> <p>やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)</p> <p>現在は市内の巡回や通報により対応してきたが、今後は予防保全型の維持管理計画を策定するための専門知識のある人材が必要である。 ポンプ場では建物、機械設備、電気設備、水質の水準維持において、経験を積んだ専門技術者のノウハウが重要となってきた。委託だけに頼ってはいけない。</p>																				
事務事業コスト、効率的性評価、公平性評価から見たこの事務事業の課題は?	<p>⑦ 受益機会・費用負担の適正化</p> <p>☑ 見直し余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映</p> <p>☑ 公平・公正である ⇒【以下に理由を記入】</p> <p>事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?</p> <p>負担者と受益者がほぼ同じであり、利用者からは利用量をいただいております、不公平にはなっていない。</p>																				
<p>事務事業コスト、効率的性評価、公平性評価から見たこの事務事業の課題は?</p> <p>公共施設のマネジメントを進めるなかで、今後予防保全型の維持管理計画をLCCを考慮したなかで策定しなければいけない。かつ、事業費が老朽化により増加傾向にあるので予算の平準化を考え、専門技術者の配置が必要である。</p>																					
<p>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(ACTION)</p> <p>(1) 担当課評価者としての評価結果</p> <p>① 公共関係と妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>③ 効率的性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>・老朽化した下水道ストックのマネジメントをライフサイクルコストの最小化、コストの平準化を見据え、計画的かつ適正に進めることで維持管理に係る経費を圧縮していく必要がある。</p>																					
<p>(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・具体的に記載</p> <p><input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率的性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止</p> <p>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>・管きよについて経年劣化により流出障害が発生し、悪臭等の原因ともなっており、順次更新、改築の予防保全型維持管理計画が必要である。</p> <p>・南部中継ポンプ場・管きよの更新、改築が必要である。</p>																					
<p>(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コスト</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			削減	維持	増加	コスト				向上			○	維持			×	低下	×		×
	削減	維持	増加																		
コスト																					
向上			○																		
維持			×																		
低下	×		×																		
<p>(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策</p> <p>課題である施設の老朽化対策に見合ったストックマネジメントの確実な実行</p>																					
<p>(6) &lt;目標達成基準、見直し・廃止基準&gt;この事業はどのような状態となれば目標が達成されたこととなりますか。また、見直し・廃止となりますか?市が公共下水道事業を実施している限り廃止はなく、下水道に起因する事故、施設の破損による機能停止を発生させないことが目標となる。</p>																					

評価実施 平成 29 年度		事務事業マネジメントシート(兼 事務事業コスト計算書)																																																																																																																																																																																																																																																																													
事務事業名	No. 2	府中市都市下水路維持管理事業								←実施計画上の重点項目 重点施策に該当する場合、ここから該当項目を選択してください																																																																																																																																																																																																																																																																					
政策名	No. 7	7 都市基盤								所属部	都市整備部	所属課	道路下水道課																																																																																																																																																																																																																																																																		
施策名	No. 25	基本施策25 下水道の整備・維持・更新								所属係	下水道工務係	課長名	蛭谷 常久																																																																																																																																																																																																																																																																		
予算科目	会計	科目	目	事業コード	法令根拠																																																																																																																																																																																																																																																																										
事業期間	単年度のみ		単年度繰返		期間限定複数年度 (昭和58年度 ~ 年度)																																																																																																																																																																																																																																																																										
<b>事務事業の概要(事業の具体的な手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)</b> ① 国立市内の分流区域の雨水を府中市の第四都市下水路に接続したことによる両市間の協定 ② 府中市と国立市との間の都市下水路事業の事務委託に関する規約付属協定 府中市と国立市で定めた維持管理負担割合でそれぞれ負担する。 ③ 委託名 第四都市下水路清掃委託 施設名 第四都市下水路(谷保第2排水区・西部第3排水区) ④ 経費(維持管理費)納入については、当該年度において維持管理に要した経費を府中市の請求に基づき納入する。 《手順》 府中市より次年度予算計上の依頼→第四都市下水路清掃業務委託実施→維持管理負担金の納入(予算内訳)下水道費、下水道管理費、下水道維持費、負担金補助及び交付金、府中市都市下水路維持管理負担金																																																																																																																																																																																																																																																																															
<b>1 現状把握の部(PLAN)(DO)</b> (1) 事務事業の目的と指標 ① 手段:平成28年度の実績(平成28年度に行った主な活動を具体的に記載) 第四都市下水路清掃業務委託実績なし ① 手段:平成29年度の事業計画(平成29年度に計画している主な活動を具体的に記載) 第四都市下水路清掃業務委託 延長=65m ② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 雨水排水 ③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 管渠内の清掃委託で堆積した土砂等を搬出することにより流水の確保をすることができる。 ④ 結果:基本施策の目的や効果を高めるためのこの事業の貢献度 市内全域で、浸水及び公共用水域の水質汚濁を防止することができる。																																																																																																																																																																																																																																																																															
<b>(2) 各指標等の推移</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>平成25年度(決算)</th> <th>平成26年度(決算)</th> <th>平成27年度(決算)(A)</th> <th>平成28年度(決算見込み)(B)</th> <th>平成29年度(当初予算)</th> <th>目標年度(目標値)</th> <th>差額(B)-(A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">① 手段</td> <td rowspan="2">活動指標(事務事業の活動量を表す指標)</td> <td>負担金額</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">② 対象</td> <td rowspan="2">対象指標(対象の大きさを表す指標)</td> <td>清掃延長</td> <td>m</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>50</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">③ 意図</td> <td rowspan="2">成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</td> <td>負担金額</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">④ 結果</td> <td rowspan="2">上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</td> <td>雨水整備率(雨水処理面積/計画面積)</td> <td>%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>放流水質のBOD値(水質汚濁量)</td> <td>mg/l</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>												項目	名称	単位	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決算)(A)	平成28年度(決算見込み)(B)	平成29年度(当初予算)	目標年度(目標値)	差額(B)-(A)	① 手段	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	負担金額	千円	0	0	0	0	1,000	0		イ						0	② 対象	対象指標(対象の大きさを表す指標)	清掃延長	m	0	0	0	0	50	0		イ						0	③ 意図	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	負担金額	千円	0	0	0	0	1,000	0		イ						0	④ 結果	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	雨水整備率(雨水処理面積/計画面積)	%						0	放流水質のBOD値(水質汚濁量)	mg/l						0																																																																																																																																																																																		
項目	名称	単位	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決算)(A)	平成28年度(決算見込み)(B)	平成29年度(当初予算)	目標年度(目標値)	差額(B)-(A)																																																																																																																																																																																																																																																																						
① 手段	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	負担金額	千円	0	0	0	0	1,000	0																																																																																																																																																																																																																																																																						
			イ						0																																																																																																																																																																																																																																																																						
② 対象	対象指標(対象の大きさを表す指標)	清掃延長	m	0	0	0	0	50	0																																																																																																																																																																																																																																																																						
			イ						0																																																																																																																																																																																																																																																																						
③ 意図	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	負担金額	千円	0	0	0	0	1,000	0																																																																																																																																																																																																																																																																						
			イ						0																																																																																																																																																																																																																																																																						
④ 結果	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	雨水整備率(雨水処理面積/計画面積)	%						0																																																																																																																																																																																																																																																																						
		放流水質のBOD値(水質汚濁量)	mg/l						0																																																																																																																																																																																																																																																																						
<b>(3) 事務事業コストの推移</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単位</th> <th>平成25年度(決算)</th> <th>平成26年度(決算)</th> <th>平成27年度(決算)(A)</th> <th>平成28年度(決算見込み)(B)</th> <th>平成29年度(当初予算)</th> <th>目標年度(目標値)</th> <th>差額(B)-(A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">支出内訳</td> <td>正規職員従事人数</td> <td>人</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td>16</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>正規職員人件費計(C)</td> <td>千円</td> <td>80</td> <td>90</td> <td>90</td> <td>90</td> <td>90</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>再任用職員従事人数</td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>再任用職員人件費計(D)</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>嘱託職員従事人数</td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>嘱託職員人件費計(E)</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>人に係るコスト計(F)</td> <td>千円</td> <td>80</td> <td>90</td> <td>90</td> <td>90</td> <td>90</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">物に係るコスト</td> <td>物件費</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>うち委託料</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1,000</td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>維持補修費</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">物に係るコスト計(G)</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">移転支的コスト</td> <td>扶助費</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>補助費等</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">移転支的コスト計(H)</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">支出計(I)=(F)+(G)+(H)</td> <td>千円</td> <td>80</td> <td>90</td> <td>90</td> <td>90</td> <td>90</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">収入内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>都支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>分担金及び負担金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料及び手数料</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">収入計(J)</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">収支差額(K)=(J)-(I)</td> <td>千円</td> <td>-80</td> <td>-90</td> <td>-90</td> <td>-90</td> <td>-90</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">一般財源投入割合</td> <td>%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>#DIV/0!</td> </tr> </tbody> </table>												項目	単位	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決算)(A)	平成28年度(決算見込み)(B)	平成29年度(当初予算)	目標年度(目標値)	差額(B)-(A)	支出内訳	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	0	延べ業務時間	時間	16	18	18	18	18	0	正規職員人件費計(C)	千円	80	90	90	90	90	0	再任用職員従事人数	人							延べ業務時間	時間						0	再任用職員人件費計(D)	千円	0	0	0	0	0	0	嘱託職員従事人数	人						0	延べ業務時間	時間						0	嘱託職員人件費計(E)	千円	0	0	0	0	0	0	人に係るコスト計(F)	千円	80	90	90	90	90	0	物に係るコスト	物件費	千円						0	うち委託料	千円				1,000		0	維持補修費	千円						0	物に係るコスト計(G)		千円	0	0	0	0	0	0	移転支的コスト	扶助費	千円						0	補助費等	千円						0	繰出金	千円						0	その他	千円						0	移転支的コスト計(H)		千円	0	0	0	0	0	0	その他	千円							0	支出計(I)=(F)+(G)+(H)		千円	80	90	90	90	90	0	収入内訳	国庫支出金	千円						0	都支出金	千円						0	分担金及び負担金	千円						0	使用料及び手数料	千円						0	繰入金	千円						0	その他	千円						0	収入計(J)		千円	0	0	0	0	0	0	収支差額(K)=(J)-(I)		千円	-80	-90	-90	-90	-90	0	一般財源投入割合		%	100%	100%	100%	100%	100%	#DIV/0!
項目	単位	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決算)(A)	平成28年度(決算見込み)(B)	平成29年度(当初予算)	目標年度(目標値)	差額(B)-(A)																																																																																																																																																																																																																																																																							
支出内訳	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	0																																																																																																																																																																																																																																																																							
	延べ業務時間	時間	16	18	18	18	18	0																																																																																																																																																																																																																																																																							
	正規職員人件費計(C)	千円	80	90	90	90	90	0																																																																																																																																																																																																																																																																							
	再任用職員従事人数	人																																																																																																																																																																																																																																																																													
	延べ業務時間	時間						0																																																																																																																																																																																																																																																																							
	再任用職員人件費計(D)	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																							
	嘱託職員従事人数	人						0																																																																																																																																																																																																																																																																							
	延べ業務時間	時間						0																																																																																																																																																																																																																																																																							
	嘱託職員人件費計(E)	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																							
	人に係るコスト計(F)	千円	80	90	90	90	90	0																																																																																																																																																																																																																																																																							
物に係るコスト	物件費	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																							
	うち委託料	千円				1,000		0																																																																																																																																																																																																																																																																							
	維持補修費	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																							
物に係るコスト計(G)		千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																							
移転支的コスト	扶助費	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																							
	補助費等	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																							
	繰出金	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																							
	その他	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																							
移転支的コスト計(H)		千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																							
その他	千円							0																																																																																																																																																																																																																																																																							
支出計(I)=(F)+(G)+(H)		千円	80	90	90	90	90	0																																																																																																																																																																																																																																																																							
収入内訳	国庫支出金	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																							
	都支出金	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																							
	分担金及び負担金	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																							
	使用料及び手数料	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																							
	繰入金	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																							
	その他	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																							
	収入計(J)		千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																						
収支差額(K)=(J)-(I)		千円	-80	-90	-90	-90	-90	0																																																																																																																																																																																																																																																																							
一般財源投入割合		%	100%	100%	100%	100%	100%	#DIV/0!																																																																																																																																																																																																																																																																							

2 評価の部(CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

公共関与性評価	① 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【以下に理由を記入】 公共下水道として谷保第2排水区の雨水を排水していることから市が維持管理を行うことは責務である。 なぜこの事業を行政が行わなければならないのか?税金を使う必要があるか、民間や受益者ができる事業か?かつ、行政が行うとした場合、国・都が行う事業か、それとも市が行う事業か?																				
有効性評価	② 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【以下に理由を記入】 法第252条の14第1項の規定による両市相互の協力関係の1つであり、協定内容については現状で十分な内容と考えられる。 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?																				
	③ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 国立市内の一部排水区の雨水を自然流下により第4都市下水路に流出していることから現段階では事業廃止・休止は基本的に考えていない。																				
活動指標・対象指標・成果指標の推移、公共関与性評価、有効性評価から見たこの事務事業の課題は?	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【以下に理由を記入】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【以下に理由を記入】 類似はなし。 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法は?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?																				
	⑤ 事業費の削減余地・歳入の確保余地	<input type="checkbox"/> 事業費削減(歳入確保)余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費削減(歳入確保)余地がない ⇒【以下に理由を記入】 両市間での協定により清掃委託の負担割合が定められている。 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) さらなる歳入を確保できないか?																				
公平性評価	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【以下に理由を記入】 負担金のみで人件費の抑制がなされている。 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)																				
	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【以下に理由を記入】 流入面積を負担割合で定めているので公平・公正であると考えられる。 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?																				
事務事業コスト、効率性評価、公平性評価から見たこの事務事業の課題は?																						
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(ACTION)</b> (1) 担当課評価者としての評価結果 ① 公共関与と妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり (2) 全体総括(振り返り、反省点) 都市下水路施設の利用目的にそって常に有効適切に維持管理をする。 (3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・具体的に記載 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 府中市と国立市との協定を今後も継続していく。 (4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コスト</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				削減	維持	増加	コスト				向上				維持		○	×	低下	×		×
	削減	維持	増加																			
コスト																						
向上																						
維持		○	×																			
低下	×		×																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 (6) <目標達成基準、見直し・廃止基準>この事業はどのような状態となれば目標が達成されたこととなりますか。また、見直し・廃止となりますか?第4都市下水路がなくなるか、行政管理を行わない場合、現状は無理である。																						

評価実施 平成 29 年度		事務事業マネジメントシート（兼 事務事業コスト計算書）																																																																																																																																																																																																																																																																												
事務事業名	No. 3	立川市処理場維持管理事業								←実施計画上の重点項目 重点施策に該当する場合、ここから該当項目を選択してください																																																																																																																																																																																																																																																																				
政策名	No. 7	7 都市基盤								所属部	都市整備部	所属課	道路下水道課																																																																																																																																																																																																																																																																	
施策名	No. 25	基本施策25 下水道の整備・維持・更新								所属係	下水道業務係	課長名	蛭谷常久																																																																																																																																																																																																																																																																	
予算科目	会計	款	項	目	事業コード	法令根拠																																																																																																																																																																																																																																																																								
事業期間	単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返		期間限定複数年度		（昭和54年度～年度）																																																																																																																																																																																																																																																																							
<b>事務事業の概要(事業の具体的な手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)</b> 国立市は下水の処理について、単独で処理場を運営するのではなく、流域下水道及び立川市錦町下水処理場を利用している。 青柳地域の一部地区の下水処理については立川市錦町下水処理場で行っており(青柳処理区分12.4ha)、その下水処理費用について立川市に維持管理負担金という形で支払っている。 処理単価73.72円/m <sup>3</sup> (平成27年度～平成29年度) 処理費用については汚水処理費用のみ払っている。																																																																																																																																																																																																																																																																														
<b>1 現状把握の部 (PLAN) (DO)</b> (1) 事務事業の目的と指標 ① 手段: 平成28年度の実績(平成28年度に行った主な活動を具体的に記載) ・立川市錦町下水処理場の適正な施設管理を行うための負担金を支払う。 負担金は青柳処理区分の汚水量に応じ、支払う。 ① 手段: 平成29年度の事業計画(平成29年度に計画している主な活動を具体的に記載) 前年度と同様 ② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 青柳処理区分内の国立市民※国立市青柳一部地域住民 青柳処理区分内の汚水量 ③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか 生活排水をきれいにする。 ④ 結果: 基本施策の目的や効果を高めるためのこの事業の貢献度 市内全域で、浸水及び公共用水域の水質汚濁を防止するとができる。																																																																																																																																																																																																																																																																														
<b>(2) 各指標等の推移</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>平成25年度(決算)</th> <th>平成26年度(決算)</th> <th>平成27年度(決算)(A)</th> <th>平成28年度(決算見込み)(B)</th> <th>平成29年度(当初予算)</th> <th>目標年度(目標値)</th> <th>差額(B)-(A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">① 手段</td> <td>活動指標(事務事業の活動量を表す指標)</td> <td>負担金</td> <td>ア</td> <td>円</td> <td>9,301,111</td> <td>9,615,422</td> <td>14,000,133</td> <td>14,131,253</td> <td>14,597,000</td> <td>131120</td> </tr> <tr> <td></td> <td>汚水量</td> <td>イ</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>151,100</td> <td>154,000</td> <td>175,000</td> <td>173,600</td> <td>180,000</td> <td>-1400</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">② 対象</td> <td>対象指標(対象の大きさを表す指標)</td> <td>青柳処理区分内の人口</td> <td>ア</td> <td>人</td> <td>1,223</td> <td>1,250</td> <td>1,352</td> <td>1,310</td> <td>1,310</td> <td>-42</td> </tr> <tr> <td></td> <td>青柳処理区分内の汚水量</td> <td>イ</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>151,100</td> <td>154,000</td> <td>175,000</td> <td>173,600</td> <td>180,000</td> <td>-1400</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">③ 意図</td> <td>成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</td> <td>放流水質のBOD値(汚水汚濁量)</td> <td>ア</td> <td>mg/l</td> <td>0.7</td> <td>2.1</td> <td>1.9</td> <td>1.9</td> <td>1.9</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>放流水質のBOD値(汚水汚濁量)</td> <td>イ</td> <td>mg/l</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">④ 結果</td> <td>上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</td> <td>放流水質のBOD値(汚水汚濁量)</td> <td>ア</td> <td>mg/l</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>雨水整備率(雨水処理面積/計画面積×100)</td> <td>イ</td> <td>%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>												項目	名称	単位	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決算)(A)	平成28年度(決算見込み)(B)	平成29年度(当初予算)	目標年度(目標値)	差額(B)-(A)	① 手段	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	負担金	ア	円	9,301,111	9,615,422	14,000,133	14,131,253	14,597,000	131120		汚水量	イ	m <sup>3</sup>	151,100	154,000	175,000	173,600	180,000	-1400	② 対象	対象指標(対象の大きさを表す指標)	青柳処理区分内の人口	ア	人	1,223	1,250	1,352	1,310	1,310	-42		青柳処理区分内の汚水量	イ	m <sup>3</sup>	151,100	154,000	175,000	173,600	180,000	-1400	③ 意図	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	放流水質のBOD値(汚水汚濁量)	ア	mg/l	0.7	2.1	1.9	1.9	1.9	0		放流水質のBOD値(汚水汚濁量)	イ	mg/l						0	④ 結果	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	放流水質のBOD値(汚水汚濁量)	ア	mg/l						0		雨水整備率(雨水処理面積/計画面積×100)	イ	%						0																																																																																																																																																																					
項目	名称	単位	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決算)(A)	平成28年度(決算見込み)(B)	平成29年度(当初予算)	目標年度(目標値)	差額(B)-(A)																																																																																																																																																																																																																																																																					
① 手段	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	負担金	ア	円	9,301,111	9,615,422	14,000,133	14,131,253	14,597,000	131120																																																																																																																																																																																																																																																																				
		汚水量	イ	m <sup>3</sup>	151,100	154,000	175,000	173,600	180,000	-1400																																																																																																																																																																																																																																																																				
② 対象	対象指標(対象の大きさを表す指標)	青柳処理区分内の人口	ア	人	1,223	1,250	1,352	1,310	1,310	-42																																																																																																																																																																																																																																																																				
		青柳処理区分内の汚水量	イ	m <sup>3</sup>	151,100	154,000	175,000	173,600	180,000	-1400																																																																																																																																																																																																																																																																				
③ 意図	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	放流水質のBOD値(汚水汚濁量)	ア	mg/l	0.7	2.1	1.9	1.9	1.9	0																																																																																																																																																																																																																																																																				
		放流水質のBOD値(汚水汚濁量)	イ	mg/l						0																																																																																																																																																																																																																																																																				
④ 結果	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	放流水質のBOD値(汚水汚濁量)	ア	mg/l						0																																																																																																																																																																																																																																																																				
		雨水整備率(雨水処理面積/計画面積×100)	イ	%						0																																																																																																																																																																																																																																																																				
<b>(3) 事務事業コストの推移</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単位</th> <th>平成25年度(決算)</th> <th>平成26年度(決算)</th> <th>平成27年度(決算)(A)</th> <th>平成28年度(決算見込み)(B)</th> <th>平成29年度(当初予算)</th> <th>目標年度(目標値)</th> <th>差額(B)-(A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">支出内訳</td> <td>正規職員従事人数</td> <td>人</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td>22</td> <td>22</td> <td>22</td> <td>22</td> <td>22</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>正規職員人件費計(C)</td> <td>千円</td> <td>110</td> <td>110</td> <td>110</td> <td>110</td> <td>110</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>再任用職員従事人数</td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>再任用職員人件費計(D)</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>嘱託職員従事人数</td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>嘱託職員人件費計(E)</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>人に係るコスト計(F)</td> <td>千円</td> <td>110</td> <td>110</td> <td>110</td> <td>110</td> <td>110</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">物に係るコスト</td> <td>物件費</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>うち委託料</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>維持補修費</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">物に係るコスト計(G)</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">移転支出的なコスト</td> <td>扶助費</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>補助費等</td> <td>千円</td> <td>9,302</td> <td>9,616</td> <td>14,001</td> <td>14,132</td> <td>15,597</td> <td>131</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">移転支出的なコスト計(H)</td> <td>千円</td> <td>9,302</td> <td>9,616</td> <td>14,001</td> <td>14,132</td> <td>15,597</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">支出計(I)=(F)+(G)+(H)</td> <td>千円</td> <td>9,412</td> <td>9,726</td> <td>14,111</td> <td>14,242</td> <td>15,707</td> <td>131</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">収入内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>都支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>分担金及び負担金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料及び手数料</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>収入計(J)</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">収支差額(K)=(J)-(I)</td> <td>千円</td> <td>-9,412</td> <td>-9,726</td> <td>-14,111</td> <td>-14,242</td> <td>-15,707</td> <td>-131</td> </tr> <tr> <td colspan="2">一般財源投入割合</td> <td>%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>#DIV/0!</td> </tr> </tbody> </table>												項目	単位	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決算)(A)	平成28年度(決算見込み)(B)	平成29年度(当初予算)	目標年度(目標値)	差額(B)-(A)	支出内訳	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	0	延べ業務時間	時間	22	22	22	22	22	0	正規職員人件費計(C)	千円	110	110	110	110	110	0	再任用職員従事人数	人							延べ業務時間	時間						0	再任用職員人件費計(D)	千円	0	0	0	0	0	0	嘱託職員従事人数	人							延べ業務時間	時間						0	嘱託職員人件費計(E)	千円	0	0	0	0	0	0	人に係るコスト計(F)	千円	110	110	110	110	110	0	物に係るコスト	物件費	千円						0	うち委託料	千円						0	維持補修費	千円						0	物に係るコスト計(G)		千円	0	0	0	0	0	0	移転支出的なコスト	扶助費	千円						0	補助費等	千円	9,302	9,616	14,001	14,132	15,597	131	繰入金	千円						0	その他	千円						0	移転支出的なコスト計(H)		千円	9,302	9,616	14,001	14,132	15,597	0	その他	千円							0	支出計(I)=(F)+(G)+(H)		千円	9,412	9,726	14,111	14,242	15,707	131	収入内訳	国庫支出金	千円						0	都支出金	千円						0	分担金及び負担金	千円						0	使用料及び手数料	千円						0	繰入金	千円						0	その他	千円						0	収入計(J)	千円	0	0	0	0	0	0	収支差額(K)=(J)-(I)		千円	-9,412	-9,726	-14,111	-14,242	-15,707	-131	一般財源投入割合		%	100%	100%	100%	100%	100%	#DIV/0!
項目	単位	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決算)(A)	平成28年度(決算見込み)(B)	平成29年度(当初予算)	目標年度(目標値)	差額(B)-(A)																																																																																																																																																																																																																																																																						
支出内訳	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	0																																																																																																																																																																																																																																																																						
	延べ業務時間	時間	22	22	22	22	22	0																																																																																																																																																																																																																																																																						
	正規職員人件費計(C)	千円	110	110	110	110	110	0																																																																																																																																																																																																																																																																						
	再任用職員従事人数	人																																																																																																																																																																																																																																																																												
	延べ業務時間	時間						0																																																																																																																																																																																																																																																																						
	再任用職員人件費計(D)	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																						
	嘱託職員従事人数	人																																																																																																																																																																																																																																																																												
	延べ業務時間	時間						0																																																																																																																																																																																																																																																																						
	嘱託職員人件費計(E)	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																						
	人に係るコスト計(F)	千円	110	110	110	110	110	0																																																																																																																																																																																																																																																																						
物に係るコスト	物件費	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																						
	うち委託料	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																						
	維持補修費	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																						
物に係るコスト計(G)		千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																						
移転支出的なコスト	扶助費	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																						
	補助費等	千円	9,302	9,616	14,001	14,132	15,597	131																																																																																																																																																																																																																																																																						
	繰入金	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																						
	その他	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																						
移転支出的なコスト計(H)		千円	9,302	9,616	14,001	14,132	15,597	0																																																																																																																																																																																																																																																																						
その他	千円							0																																																																																																																																																																																																																																																																						
支出計(I)=(F)+(G)+(H)		千円	9,412	9,726	14,111	14,242	15,707	131																																																																																																																																																																																																																																																																						
収入内訳	国庫支出金	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																						
	都支出金	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																						
	分担金及び負担金	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																						
	使用料及び手数料	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																						
	繰入金	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																						
	その他	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																						
	収入計(J)	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																						
収支差額(K)=(J)-(I)		千円	-9,412	-9,726	-14,111	-14,242	-15,707	-131																																																																																																																																																																																																																																																																						
一般財源投入割合		%	100%	100%	100%	100%	100%	#DIV/0!																																																																																																																																																																																																																																																																						

2 評価の部(CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

公共 関与 性 評 価	① 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【以下に理由を記入】 下水道の管理は市の義務であり、環境の保全や効率性を考えたときに立川市錦町下水処理場を利用することが望ましい。																
	② 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【以下に理由を記入】 高度処理等の施設が備えられ、下水道法施行令で定められた水質基準を保っているため。																
	③ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 汚水処理ができなくなり、公衆衛生及び水質環境の悪化となる。																
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【以下に理由を記入】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【以下に理由を記入】 北多摩二号水再生センターとの統合は、今は地形的な問題により難しい。																
有 効 性 評 価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？(そもそも、この事業は、施策の目的や公益の増進に役立っているか？)																	
	活動指標・対象指標・成果指標の推移、公共関与性評価、有効性評価から見たこの事務事業の課題は？	平成34年に立川市錦町下水処理場を廃止し、新しく建設する錦幹線により立川市を經由して北多摩二号水再生センターで汚水処理する予定のため、平成34年度までの事業予定である。																
効 率 性 評 価	⑤ 事業費の削減余地・歳入の確保余地	<input type="checkbox"/> 事業費削減(歳入確保)余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費削減(歳入確保)余地がない ⇒【以下に理由を記入】 北多摩二号水再生センターへ流したほうが処理単価は安い、現実的には前述の理由により難しい。																
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【以下に理由を記入】 汚水処理費に関しては、使用料収入等関係する事務の中の一部であり、立川市処理部分の事務だけを分けるのは、難しいため。																
公 平 性 評 価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【以下に理由を記入】 青柳処理区分の普及率は100%であり、処理区域内の住民の汚水は全て立川市錦町下水処理場で処理されているので公平である。																
	事務事業コスト、効率性評価、公平性評価から見たこの事務事業の課題は？	平成34年に立川市錦町下水処理場を廃止し、新しく建設する錦幹線により立川市を經由して北多摩二号水再生センターで汚水処理する予定のため、平成34年度までの事業予定である。																
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(ACTION)</b> (1) 担当課評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり (2) 全体総括(振り返り、反省点) 事業の改善については、立川市錦町下水処理場は立川市によって維持管理・運営されているため、立川市との協議及び情報提供を求めるといふ行動が主となる。																		
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・具体的に記載 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 平成34年に立川市錦町下水処理場を廃止し、新しく建設する錦幹線により立川市を經由して北多摩二号水再生センターで汚水処理する予定のため、平成34年度までの事業予定である。		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) コスト <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		削減	維持	増加	向上				維持		○	×	低下		×	×
	削減	維持	増加															
向上																		
維持		○	×															
低下		×	×															
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 平成34年に立川市錦町下水処理場を廃止し、新しく建設する錦幹線により立川市を經由して北多摩二号水再生センターで汚水処理する予定のため、平成34年度までの事業予定である。																		
(6) <目標達成基準、見直し・廃止基準>この事業はどのような状態となれば目標が達成されたこととなりますか。また、見直し・廃止となりますか？ 平成34年に立川市錦町下水処理場を廃止し、新しく建設する錦幹線により立川市を經由して北多摩二号水再生センターで汚水処理する予定のため、平成34年度までの事業予定である。																		

評価実施 平成 29 年度	事務事業マネジメントシート(兼 事務事業コスト計算書)										
事務事業名	No. 4	流域下水道水質検査共同実施事業								←実施計画上の重点項目 重点施策に該当する場合、ここから該当項目を選択してください	
政策名	No. 7	7 都市基盤								所属部	都市整備部
施策名	No. 25	基本施策25 下水道の整備・維持・更新								所属課	道路下水道課
予算科目	会計	科目	目	事業コード	法令根拠	下水道法第21条、水質汚濁防止法第3条					
事業期間	単年度のみ		単年度繰返		期間限定複数年度 (平成17年度 ~ 年度)						
事務事業の概要(事業の具体的な手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)					この事業を開始した経緯(いつ、どのような経緯で開始したか)						
目的:流域下水道及び流域関連公共下水道の機能及び構造を保全し、北多摩二号水再生センター及び立川市錦町下水処理場からの放流水質を良好に保つため、東京都下水道局と国立市が共同で水質検査業務を行っている。					平成16年度に水質検査業務の共同実施による事務の効率化と水質試験の高度化を目的とした協定を締結し、平成17年度より、東京都下水道局主導で水質検査業務の共同実施を開始した。						
方法:流域下水道管理者(東京都下水道局)の水質検査業務受託者により、流域下水道と流域関連公共下水道及び立川市公共下水道との接続点及び事業場排水について現地での採水の立会いを年4回実施し、後日、当該受託者において水質検査の分析を行う。その分析結果通知により、水質排出基準を超過した項目については、別に原因調査(追跡調査)を行い、それぞれに報告する。					裁量性の小さい理由・根拠 法令等により事業の実施が義務付けられている事業						

1 現状把握の部(PPLAN)(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段:平成28年度の実績(平成28年度に行った主な活動を具体的に記載)  
流域下水道及び立川市公共下水道へ排出する下水道接続点の水質調査、各特定事業場からの排水の水質分析

① 手段:平成29年度の事業計画(平成29年度に計画している主な活動を具体的に記載)  
前年度と同様

② 対象(誰、何を対象にしているのか) \* 人や自然資源等  
下水の水質

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)  
水質排出基準に適合させる。

④ 結果:基本施策の目的や効果を高めるためのこの事業の貢献度  
市内全域で、浸水及び公共用水域の水質汚濁を防止することができる。

(2) 各指標等の推移

項目	名称	単位	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決算)(A)	平成28年度(決算見込み)(B)	平成29年度(当初予算)	目標年度(目標値)	差額(B)-(A)
① 手段	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	接続点	ア 箇所	22	22	20	20	20	0
		特定事業場	イ 箇所	13	13	9	10	9	1
② 対象	対象指標(対象の大きさを表す指標)	超過検体数/総検体数(接続点)	ア %	0	0	0	0	0	0
		超過検体数/総検体数(特定事業場)	イ %	0	0	0	3	0	3
③ 意図	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	改善率	ア %	100	100	100	100	100	0
		水質基準の適合率	イ %	100	100	100	100	100	0
④ 結果	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	放流水質のBOD値(水質汚濁量)	ア mg/l						0
			イ						0

(3) 事務事業コストの推移

項目	単位	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決算)(A)	平成28年度(決算見込み)(B)	平成29年度(当初予算)	目標年度(目標値)	差額(B)-(A)
支出内訳	正規職員従事人数	人	2	1	1	1	1	0
	延べ業務時間	時間	16	8	8	8	8	0
	正規職員人件費計(C)	千円	80	40	40	40	40	0
	再任用職員従事人数	人		1	1	1	1	0
	延べ業務時間	時間		28	28	28	28	0
	再任用職員人件費計(D)	千円	0	56	56	56	56	0
	嘱託職員従事人数	人		1	1	1	1	0
	延べ業務時間	時間		20	20	20	20	0
	嘱託職員人件費計(E)	千円	0	30	30	30	30	0
	人に係るコスト計(F)	千円	80	126	126	126	126	0
物に係るコスト	物件費	千円						0
	うち委託料	千円						0
	維持補修費	千円						0
物に係るコスト計(G)	千円	0	0	0	0	0	0	
移転支的コスト	扶助費	千円						0
	補助費等	千円	1,125	1,473	1,103	1,101	2,701	-2
	繰出金	千円						0
	その他	千円						0
移転支的コスト計(H)	千円	1,125	1,473	1,103	1,101	2,701	-2	
その他	千円							0
支出計(I)=(F)+(G)+(H)	千円	1,205	1,599	1,229	1,227	2,827	0	-2
収入内訳	国庫支出金	千円						0
	都支出金	千円						0
	分担金及び負担金	千円						0
	使用料及び手数料	千円						0
	繰入金	千円						0
	その他	千円						0
	収入計(J)	千円	0	0	0	0	0	0
収支差額(K)=(J)-(I)	千円	-1,205	-1,599	-1,229	-1,227	-2,827	0	2
一般財源投入割合	%	100%	100%	100%	100%	100%	#DIV/0!	

2 評価の部(CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

① 公共関与の妥当性

見直し余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映

妥当である ⇒【以下に理由を記入】

なぜこの事業を行政が行わなければならないのか?税金を使う必要があるか、民間や受益者ができる事業か?かつ、行政が行うとした場合、国・都が行う事業か、それとも市が行う事業か?

法令に基づき、下水道管理者が水質検査を実施し下水道施設の維持管理及び公共用水域の水質改善を図る事業である。

② 成果の向上余地

見直し余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映

向上余地がない ⇒【以下に理由を記入】

成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?

法令に基づく水質検査を実施し、各水質項目の分析を行っている。そのなかで、事業場排水については下水排除基準に適合させるべく指導・規制等の措置を講じている。

③ 廃止・休止の成果への影響

影響無 ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映

影響有 ⇒【その内容】

事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?(そもそも、この事業は、施策の目的や公益の増進に役立っているか?)

本事業を休・廃止した場合、流域関連公共下水道から流域下水道に排出する下水の処理及び流域下水道施設の維持管理に支障を及ぼす恐れがあり、流域下水道からの放流水を水質基準に適合させることが困難になる。

④ 類似事業との統廃合・連携の可能性

他に手段がある (具体的な手段、事務事業)

統廃合・連携ができる ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映

統廃合・連携ができない ⇒【以下に理由を記入】

他に手段がない ⇒【以下に理由を記入】

類似事業がない。

活動指標・対象指標・成果指標の推移、公共関与性評価、有効性評価から見たこの事務事業の課題は?

特に無し

⑤ 事業費の削減余地・歳入の確保余地

事業費削減(歳入確保)余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映

事業費削減(歳入確保)余地がない ⇒【以下に理由を記入】

成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)

さらなる歳入を確保できないか?

水質検査の共同実施事業で、東京都による一括委託で経費節減と事務の効率化が図られている。

⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地

削減余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映

削減余地がない ⇒【以下に理由を記入】

やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)

共同実施によりすでに事務の効率化が図られており、これ以上の業務時間の削減はできない。

⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地

見直し余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映

公平・公正である ⇒【以下に理由を記入】

事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?

公共下水道の管理は、市町村の義務である。

事務事業コスト、効率性評価、公平性評価から見たこの事務事業の課題は?

特に無し

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(ACTION)

(1) 担当課評価者としての評価結果

① 公共関与妥当性  適切  見直し余地あり

② 有効性  適切  見直し余地あり

③ 効率性  適切  見直し余地あり

④ 公平性  適切  見直し余地あり

(2) 全体総括(振り返り、反省点)

本事業の水質検査が平成17年度から共同で実施されたことで、すでに費用の削減及び事務の効率化が図られており、流域下水道及び流域関連公共下水道の両施設について適正な維持管理が行われている。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・具体的に記載

事業のやり方改善(有効性改善)  事業のやり方改善(効率性改善)  事業のやり方改善(公平性改善)

事業統廃合・連携  縮小  休止  廃止

現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

現状の水質検査を共同で実施していくことで、特に改革改善はない。

(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

	削減	維持	増加
向上			
維持		○	×
低下		×	×

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策

特に無し

(6) <目標達成基準、見直し・廃止基準>この事業はどのような状態となれば目標が達成されたこととなりますか。また、見直し・廃止となりますか?見直し・廃止は、不可(公共下水道事業には、必要不可欠)

評価実施 平成 29 年度		事務事業マネジメントシート(兼 事務事業コスト計算書)																																																																																																																																																																																																																																																																													
事務事業名	No. 5	下水道関係統計事業								←実施計画上の重点項目 重点施策に該当する場合、ここから該当項目を選択してください																																																																																																																																																																																																																																																																					
政策名	No. 7	7 都市基盤								所属部	都市整備部	所属課	道路下水道課																																																																																																																																																																																																																																																																		
施策名	No. 25	基本施策25 下水道の整備・維持・更新								所属係	下水道業務係	課長名	蛭谷 常久																																																																																																																																																																																																																																																																		
予算科目	会計	款	項	目	事業コード	法令根拠																																																																																																																																																																																																																																																																									
事業期間	単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返		期間限定複数年度		( 年度 ~ 年度 )																																																																																																																																																																																																																																																																								
事務事業の概要(事業の具体的な手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)																																																																																																																																																																																																																																																																															
この事業を開始した経緯(いつ、どのような経緯で開始したか)																																																																																																																																																																																																																																																																															
目的: 下水道事業を執行するうえで、上級官庁及び地方公共団体等より統計調査の依頼がある。																																																																																																																																																																																																																																																																															
調査内容: 予算から維持管理までの多岐にわたり、ほとんどの調査が東京都経由で国土交通省が発信元である。調査の一部は国土交通省のHPで公表するものもあり、調査の回答には慎重な対応を要する。																																																																																																																																																																																																																																																																															
裁量性の小さい理由・根拠 法令等により事業の実施が義務付けられている事業																																																																																																																																																																																																																																																																															
1 現状把握の部(PLAN)(DO)																																																																																																																																																																																																																																																																															
(1) 事務事業の目的と指標																																																																																																																																																																																																																																																																															
① 手段: 平成28年度の実績(平成28年度に行った主な活動を具体的に記載) 調査作成依頼件数56件																																																																																																																																																																																																																																																																															
① 手段: 平成29年度の事業計画(平成29年度に計画している主な活動を具体的に記載)																																																																																																																																																																																																																																																																															
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 国及び東京都																																																																																																																																																																																																																																																																															
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 下水道事業の数値を知ることができる。																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ 結果: 基本施策の目的や効果を高めるためのこの事業の貢献度 市内全域で、浸水及び公共用水域の水質汚濁を防止することができる。 (他市の状況等の把握により、下水道事業推進の一助となる)																																																																																																																																																																																																																																																																															
(2) 各指標等の推移																																																																																																																																																																																																																																																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>平成25年度(決算)</th> <th>平成26年度(決算)</th> <th>平成27年度(決算)(A)</th> <th>平成28年度(決算見込み)(B)</th> <th>平成29年度(当初予算)</th> <th>目標年度(目標値)</th> <th>差額(B)-(A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">① 手段</td> <td rowspan="2">活動指標(事務事業の活動量を表す指標)</td> <td>統計等調査の件数</td> <td>件</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">② 対象</td> <td rowspan="2">対象指標(対象の大きさを表す指標)</td> <td>国</td> <td>件</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>東京都</td> <td>イ</td> <td>件</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">③ 意図</td> <td rowspan="2">成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</td> <td>統計等調査の回答件数</td> <td>件</td> <td>56</td> <td>56</td> <td>56</td> <td>56</td> <td>56</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">④ 結果</td> <td rowspan="2">上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</td> <td>雨水整備率(雨水処理面積/計画面積)</td> <td>%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>放流水質のBOD値(水質汚濁量)</td> <td>mg/l</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>												項目	名称	単位	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決算)(A)	平成28年度(決算見込み)(B)	平成29年度(当初予算)	目標年度(目標値)	差額(B)-(A)	① 手段	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	統計等調査の件数	件	50	50	50	50	50	0		イ						0	② 対象	対象指標(対象の大きさを表す指標)	国	件	5	5	5	5	5	0	東京都	イ	件	5	5	5	5	0	③ 意図	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	統計等調査の回答件数	件	56	56	56	56	56	0		イ						0	④ 結果	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	雨水整備率(雨水処理面積/計画面積)	%						0	放流水質のBOD値(水質汚濁量)	mg/l						0																																																																																																																																																																																		
項目	名称	単位	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決算)(A)	平成28年度(決算見込み)(B)	平成29年度(当初予算)	目標年度(目標値)	差額(B)-(A)																																																																																																																																																																																																																																																																						
① 手段	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	統計等調査の件数	件	50	50	50	50	50	0																																																																																																																																																																																																																																																																						
			イ						0																																																																																																																																																																																																																																																																						
② 対象	対象指標(対象の大きさを表す指標)	国	件	5	5	5	5	5	0																																																																																																																																																																																																																																																																						
		東京都	イ	件	5	5	5	5	0																																																																																																																																																																																																																																																																						
③ 意図	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	統計等調査の回答件数	件	56	56	56	56	56	0																																																																																																																																																																																																																																																																						
			イ						0																																																																																																																																																																																																																																																																						
④ 結果	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	雨水整備率(雨水処理面積/計画面積)	%						0																																																																																																																																																																																																																																																																						
		放流水質のBOD値(水質汚濁量)	mg/l						0																																																																																																																																																																																																																																																																						
(3) 事務事業コストの推移																																																																																																																																																																																																																																																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単位</th> <th>平成25年度(決算)</th> <th>平成26年度(決算)</th> <th>平成27年度(決算)(A)</th> <th>平成28年度(決算見込み)(B)</th> <th>平成29年度(当初予算)</th> <th>目標年度(目標値)</th> <th>差額(B)-(A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">支出内訳</td> <td>正規職員従事人数</td> <td>人</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td>410</td> <td>410</td> <td>410</td> <td>410</td> <td>410</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>正規職員人件費計(C)</td> <td>千円</td> <td>2,050</td> <td>2,050</td> <td>2,050</td> <td>2,050</td> <td>2,050</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>再任用職員従事人数</td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>再任用職員人件費計(D)</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>嘱託職員従事人数</td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>嘱託職員人件費計(E)</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>人に係るコスト計(F)</td> <td>千円</td> <td>2,050</td> <td>2,050</td> <td>2,050</td> <td>2,050</td> <td>2,050</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">物に係るコスト</td> <td>物件費</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>うち委託料</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>維持補修費</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">物に係るコスト計(G)</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">移転支的コスト</td> <td>扶助費</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>補助費等</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">移転支的コスト計(H)</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">支出計(I)=(F)+(G)+(H)</td> <td>千円</td> <td>2,050</td> <td>2,050</td> <td>2,050</td> <td>2,050</td> <td>2,050</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">収入内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>都支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>分担金及び負担金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料及び手数料</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">収入計(J)</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">収支差額(K)=(J)-(I)</td> <td>千円</td> <td>-2,050</td> <td>-2,050</td> <td>-2,050</td> <td>-2,050</td> <td>-2,050</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">一般財源投入割合</td> <td>%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>#DIV/0!</td> </tr> </tbody> </table>												項目	単位	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決算)(A)	平成28年度(決算見込み)(B)	平成29年度(当初予算)	目標年度(目標値)	差額(B)-(A)	支出内訳	正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4	0	延べ業務時間	時間	410	410	410	410	410	0	正規職員人件費計(C)	千円	2,050	2,050	2,050	2,050	2,050	0	再任用職員従事人数	人						0	延べ業務時間	時間						0	再任用職員人件費計(D)	千円	0	0	0	0	0	0	嘱託職員従事人数	人						0	延べ業務時間	時間						0	嘱託職員人件費計(E)	千円	0	0	0	0	0	0	人に係るコスト計(F)	千円	2,050	2,050	2,050	2,050	2,050	0	物に係るコスト	物件費	千円						0	うち委託料	千円						0	維持補修費	千円						0	物に係るコスト計(G)		千円	0	0	0	0	0	0	移転支的コスト	扶助費	千円						0	補助費等	千円						0	繰出金	千円						0	その他	千円						0	移転支的コスト計(H)		千円	0	0	0	0	0	0	その他	千円							0	支出計(I)=(F)+(G)+(H)		千円	2,050	2,050	2,050	2,050	2,050	0	収入内訳	国庫支出金	千円						0	都支出金	千円						0	分担金及び負担金	千円						0	使用料及び手数料	千円						0	繰入金	千円						0	その他	千円						0	収入計(J)		千円	0	0	0	0	0	0	収支差額(K)=(J)-(I)		千円	-2,050	-2,050	-2,050	-2,050	-2,050	0	一般財源投入割合		%	100%	100%	100%	100%	100%	#DIV/0!
項目	単位	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決算)(A)	平成28年度(決算見込み)(B)	平成29年度(当初予算)	目標年度(目標値)	差額(B)-(A)																																																																																																																																																																																																																																																																							
支出内訳	正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4	0																																																																																																																																																																																																																																																																							
	延べ業務時間	時間	410	410	410	410	410	0																																																																																																																																																																																																																																																																							
	正規職員人件費計(C)	千円	2,050	2,050	2,050	2,050	2,050	0																																																																																																																																																																																																																																																																							
	再任用職員従事人数	人						0																																																																																																																																																																																																																																																																							
	延べ業務時間	時間						0																																																																																																																																																																																																																																																																							
	再任用職員人件費計(D)	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																							
	嘱託職員従事人数	人						0																																																																																																																																																																																																																																																																							
	延べ業務時間	時間						0																																																																																																																																																																																																																																																																							
	嘱託職員人件費計(E)	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																							
	人に係るコスト計(F)	千円	2,050	2,050	2,050	2,050	2,050	0																																																																																																																																																																																																																																																																							
物に係るコスト	物件費	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																							
	うち委託料	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																							
	維持補修費	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																							
物に係るコスト計(G)		千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																							
移転支的コスト	扶助費	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																							
	補助費等	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																							
	繰出金	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																							
	その他	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																							
移転支的コスト計(H)		千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																							
その他	千円							0																																																																																																																																																																																																																																																																							
支出計(I)=(F)+(G)+(H)		千円	2,050	2,050	2,050	2,050	2,050	0																																																																																																																																																																																																																																																																							
収入内訳	国庫支出金	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																							
	都支出金	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																							
	分担金及び負担金	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																							
	使用料及び手数料	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																							
	繰入金	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																							
	その他	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																							
	収入計(J)		千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																						
収支差額(K)=(J)-(I)		千円	-2,050	-2,050	-2,050	-2,050	-2,050	0																																																																																																																																																																																																																																																																							
一般財源投入割合		%	100%	100%	100%	100%	100%	#DIV/0!																																																																																																																																																																																																																																																																							

2 評価の部(CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

公共関与性評価	① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を行政が行わなければならないのか?税金を使う必要があるか、民間や受益者ができる事業か?かつ、行政が行うとした場合、国・都が行う事業か、それとも市が行う事業か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【以下に理由を記入】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【以下に理由を記入】 市が行っている事業についての調査なので、公共関与は妥当である。 当市の下水道事業の整備の一助となる。	⇒3 改革・改善方向の部に反映
有効性評価	② 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【以下に理由を記入】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【以下に理由を記入】 依頼のあったもので必要性のあるものについてはすべて回答しており、成果の向上余地はなし。	⇒3 改革・改善方向の部に反映
	③ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?(そもそも、この事業は、施策の目的や公益の増進に役立っているか?)	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【以下に理由を記入】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 国及び東京都が数値を把握できなくなる。	⇒3 改革・改善方向の部に反映
効率性評価	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法は?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【以下に理由を記入】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【以下に理由を記入】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【以下に理由を記入】 類似がない。	⇒3 改革・改善方向の部に反映
	⑤ 事業費の削減余地・歳入の確保余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) さらなる歳入を確保できないか?	<input type="checkbox"/> 事業費削減(歳入確保)余地がある ⇒【以下に理由を記入】 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費削減(歳入確保)余地がない ⇒【以下に理由を記入】 事業費なし。	⇒3 改革・改善方向の部に反映
公平性評価	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【以下に理由を記入】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【以下に理由を記入】 最低限の人件費で行っている。	⇒3 改革・改善方向の部に反映
	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【以下に理由を記入】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【以下に理由を記入】 必要性があるものはすべて対応しており、公正である。	⇒3 改革・改善方向の部に反映

活動指標・対象指標・成果指標の推移、公共関与性評価、有効性評価から見たこの事務事業の課題は?

事務事業コスト、効率性評価、公平性評価から見たこの事務事業の課題は?

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(ACTION)

(1) 担当課評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 依頼のあったもので必要性のあるものについてはすべて回答しており、成果の向上余地はなし。																
① 公共関与と妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																	
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・具体的に記載 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) コスト <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		削減	維持	増加	向上				維持		○	×	低下	×		×
	削減	維持	増加														
向上																	
維持		○	×														
低下	×		×														
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策																	
(6) <目標達成基準、見直し・廃止基準>この事業はどのような状態となれば目標が達成されたこととなりますか。また、見直し・廃止となりますか? 国・都・市・その他の調査依頼がない場合。																	

評価実施 平成 29 年度 **事務事業マネジメントシート（兼 事務事業コスト計算書）**

事務事業名	No. 6 下水道受益者負担金収納事業		←実施計画上の重点項目		重点施策に該当する場合、こちらから該当項目を選択してください	
政策名	No. 7 7都市基盤		所属部	都市整備部	所属課	道路下水道課
施策名	No. 25 基本施策25 下水道の整備・維持・更新		所属係	下水道業務係	課長名	蛭谷常久
予算科目	会計	科目	目	事業コード	法令根拠	
事業期間		単年度のみ		単年度繰返		期間限定複数年度
事務事業の概要(事業の具体的な手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						
下水道工事の一部費用をまかなうため、下水道処理区域に所有する土地面積に応じ、負担金を賦課する。現在は、下水道処理区域は100%となり、全処理区域地域で賦課済みとなっているので、新たに賦課徴収を行うのではなく、徴収猶予となっている土地の管理と猶予解除となった土地についての受益者負担金の徴収(または免除)を行っている。				この事業を開始した経緯(いつ、どのような経緯で開始したか)		
事業費の内訳 事業費は需用費、役務費、委託料、過誤納還付金に支出される。				裁量性の小さい理由・根拠 法令等により事業の実施が義務付けられている事業		

1 現状把握の部 (PLAN) (DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 手段: 平成28年度の実績(平成28年度に行った主な活動を具体的に記載)

- 徴収状況の管理
- 猶予解除となった土地について、現況調査し、受益者負担金をかけるか否か決定し、徴収及び免除処理をする。そして処理したものについて異動処理票を作成する。

① 手段: 平成29年度の事業計画(平成29年度に計画している主な活動を具体的に記載)

- 前年度と同様
- 地番整理に伴う処理

② 対象(誰、何を対象にしているのか) \* 人や自然資源等

- 処理区域内土地及び土地所有者(受益者)
- 現在では、徴収猶予土地及び土地所有者(受益者)

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

- 下水道敷設にあたり受益者に費用の一部を負担してもらう。
- 処理区域内の土地に負担金を賦課し、その所有者(受益者)より徴収する。
- 現在では、徴収猶予された土地に対して、猶予解除に当たるか否かを調査し、当たる

④ 結果: 基本施策の目的や効果を高めるためのこの事業の貢献度

市内全域で、浸水及び公共用水域の水質汚濁を防止することができる

(2) 各指標等の推移

項目		名称	単位	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決算)(A)	平成28年度(決算見込み)(B)	平成29年度(当初予算)	目標年度(目標値)	差額(B)-(A)
① 手段	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	異動処理票	ア 件	16	45	44	30	30		-14
			イ							0
② 対象	対象指標(対象の大きさを表す指標)	処理区域面積	ア m <sup>2</sup>	7,830,000	7,830,000	7,830,000	7,830,000	7,830,000		0
		徴収猶予土地面積	イ m <sup>2</sup>	545,414	535,380	526,433	535,462	535,462		9,029
③ 意図	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	賦課土地面積(猶予解除面積)	ア m <sup>2</sup>	13,969	10,034	8,947	9,029	3,000		82
		免除面積	イ m <sup>2</sup>	6,644	8,504	4,118	4,852	2,000		734
④ 結果	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	放流水質のBOD値(水質汚濁量)	ア mg/l							0
		雨水整備率(雨水処理面積/計画面積×100)	イ %							0

(3) 事務事業コストの推移

項目		単位	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決算)(A)	平成28年度(決算見込み)(B)	平成29年度(当初予算)	目標年度(目標値)	差額(B)-(A)
支出内訳	人に係るコスト	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	0
		延べ業務時間	時間	288	288	288	288	288	0
		正規職員人件費計(C)	千円	1,440	1,440	1,440	1,440	1,440	0
		再任用職員従事人数	人						0
		延べ業務時間	時間						0
		再任用職員人件費計(D)	千円	0	0	0	0	0	0
		嘱託職員従事人数	人						0
		延べ業務時間	時間						0
		嘱託職員人件費計(E)	千円	0	0	0	0	0	0
		人に係るコスト計(F)	千円	1,440	1,440	1,440	1,440	1,440	0
	物に係るコスト	物件費	千円	966	3,748	897	1,912	2,646	1,015
		うち委託料	千円		3,748	897	1,912	2,646	1,015
		維持補修費	千円						0
		物に係るコスト計(G)	千円	966	3,748	897	1,912	2,646	0
	移転支出的なコスト	扶助費	千円						0
		補助費等	千円						0
		繰入金	千円						0
		その他	千円						0
	その他	移転支出的なコスト計(H)	千円	0	0	0	0	0	0
		その他	千円						0
	支出計(I)=(F)+(G)+(H)		千円	2,406	5,188	2,337	3,352	4,086	0
収入内訳	国庫支出金	千円							0
	都支出金	千円							0
	分担金及び負担金	千円	2,344	270	3,084	2,198	1,686		-886
	使用料及び手数料	千円							0
	繰入金	千円							0
	その他	千円							0
収入計(J)		千円	2,344	270	3,084	2,198	1,686	0	-886
収支差額(K)=(J)-(I)		千円	-62	-4,918	747	-1,154	-2,400	0	-1,901
一般財源投入割合		%	3%	95%	-32%	34%	59%	#DIV/0!	

2 評価の部 (CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

公共関係と性評価	① 公共関係の妥当性	見直し余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映
	なぜこの事業を行政が行わなければならないのか?税金を使う必要があるか、民間や受益者ができる事業か?かつ、行政が行うとした場合、国・都が行う事業か、それとも市が行う事業か?	妥当である ⇒【以下に理由を記入】 受益者負担金を賦課徴収することで、下水道事業における工事費用の負担を目的としているため必要である。
	② 成果の向上余地	向上余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 向上余地がない ⇒【以下に理由を記入】 現在、負担金の賦課(猶予解除における賦課)に対する徴収率は100%であるため。
	③ 廃止・休止の成果への影響	影響無 ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 影響有 ⇒【その内容】 国立市全域において賦課済みとなっており、現在では、猶予していたものについて猶予解除要件に当たる場合に猶予解除し、徴収しているという状況である。今、この事業をやめると猶予していた人は払わなくても良いということになり、公平性を欠く。
有効性評価	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	他に手段がある (具体的な手段、事務事業) 統廃合・連携ができる ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 統廃合・連携ができない ⇒【以下に理由を記入】 他に手段がない ⇒【以下に理由を記入】 ひとつの案として、ますの設置を全て自費とすることがあげられる。受益者負担金をいじらない代わりにますの設置は自費でやらせてもらうことで公平性を保てる。
	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? (そもそも、この事業は、施策の目的や公益の増進に役立っているか?)	

活動指標・対象指標・成果指標の推移、公共関係と性評価、有効性評価から見たこの事務事業の課題は?

受益者負担金事体に対する考え方の見直しをしないと、この事務事業の変更は、不可。

効率性評価	⑤ 事業費の削減余地・歳入の確保余地	事業費削減(歳入確保)余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 事業費削減(歳入確保)余地がない ⇒【以下に理由を記入】 現在委託しているものを全て職員で行う。但し、全ての管理を職員で行うとなると事務量は大幅に増加することが考えられ、かえって人件費がかかることが予想される。 ほか、④にあげた手段をとることで事業費は削減できる。
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	削減余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 削減余地がない ⇒【以下に理由を記入】 上記のとおり、委託を解消するとなると人件費は増加する。19年度より、委託内容を変更し、賦課土地図の補正を職員でやることとしたため、この事業にかかる業務時間は増加傾向にある。

公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化	見直し余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 公平・公正である ⇒【以下に理由を記入】 受益者から負担金を徴収する事業であり、公平性を保つための事業とも言える。
	事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	

事務事業コスト、効率性評価、公平性評価から見たこの事務事業の課題は?

受益者負担金事体に対する考え方の見直しをしないと、この事務事業の変更は、不可。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(ACTION)

(1) 担当課評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 公共関係と妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・具体的に記載

事業のやり方改善(有効性改善)  事業のやり方改善(効率性改善)  事業のやり方改善(公平性改善)

事業統廃合・連携  縮小  休止  廃止

現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

	削減	維持	増加
向上			
維持			x
低下		x	x

・徴収額が工事費の一部をまかなうどころか、受益者負担金事業にかかる費用すら下回るということで下水道財政の負担になりつつある。受益に対する負担の公平性を保つための、他のやり方があるなら廃止を考える必要があるし、委託の削減・廃止等により事業費の削減に努める必要がある。

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策

・受益者負担金制度を廃止するとなると、これまで徴収してきた人との公平性を確保できない。→廃止するのであれば、受益者に対する公平な負担を保つための手段が必要である。  
 ・委託の削減・廃止をするとなると、その分の事務について職員が負担することとなり、事務量が増え、人件費は増加することが予想される。また職員の異動が頻繁に行われる状況では徴収済み・猶予の適切な管理についても問題が起きる恐れがある。業者に委託することで職員の人件費の軽減や諸般データの適切な管理を保ってきた面もあるため、一律な削減が見直しできない。手続の削減・廃止をすることで、事務の簡素化、効率化により、職員異動の際の引継ぎに時間がかかっているような状況は解消する。また、事務費の削減は、一律に削減するのではなく、業務の削減・廃止を優先して行うことにより、削減の効果が最大化される。また、削減・廃止を優先して行うことにより、削減の効果が最大化される。

(6) <目標達成基準、見直し・廃止基準>この事業はどのような状態となれば目標が達成されたことになり、見直し・廃止となりますか?

評価実施 平成 29 年度		事務事業マネジメントシート(兼 事務事業コスト計算書)																																																																																																																																																																																																																																																																											
事務事業名	No. 7	下水道使用料収納事務								←実施計画上の重点項目 重点施策に該当する場合、ここから該当項目を選択してください																																																																																																																																																																																																																																																																			
政策名	No. 7	7 都市基盤								所属部	都市整備部	所属課	道路下水道課																																																																																																																																																																																																																																																																
施策名	No. 25	基本施策25 下水道の整備・維持・更新								所属係	下水道業務係	課長名	蛭谷常久																																																																																																																																																																																																																																																																
予算科目	会計	科目	目	事業コード	法令根拠	地方自治法225条、国上市下水道条例及び規則																																																																																																																																																																																																																																																																							
事業期間	単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返		期間限定複数年度 (昭和54 年度 ~ 年度)																																																																																																																																																																																																																																																																								
<p>事務事業の概要(事業の具体的な手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) この事業を開始した経緯(いつ、どのような経緯で開始したか)</p> <p>公衆衛生の向上、水質環境の改善を目的に設置された公共下水道の維持管理運営費用に充てるため、利用者から使用料を賦課徴収する事務である。</p> <p>徴収事務に関しては東京都に委託しており、道路下水道課においては、下水道使用料の管理、減免認定、単独下水についての事務、19年度より消費税の事務などを主に行っている。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																													
<p>1 現状把握の部(PLAN)(DO)</p> <p>(1) 事務事業の目的と指標</p> <p>① 手段: 平成28年度の実績(平成28年度に行った主な活動を具体的に記載)</p> <p>・下水道使用料の管理、汚水認定、減免認定、単独下水(井戸)についての事務、消費税の事務</p> <p>① 手段: 平成29年度の事業計画(平成29年度に計画している主な活動を具体的に記載)</p> <p>前年度と同様</p> <p>② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等</p> <p>下水道利用者</p> <p>③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)</p> <p>下水道利用者より料金を適正に賦課徴収する。</p> <p>④ 結果: 基本施策の目的や効果を高めるためのこの事業の貢献度</p> <p>市内全域で、浸水及び公共用水域の水質汚濁を防止することができる。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																													
<p>(2) 各指標等の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>平成25年度(決算)</th> <th>平成26年度(決算)</th> <th>平成27年度(決算)(A)</th> <th>平成28年度(決算見込み)(B)</th> <th>平成29年度(当初予算)</th> <th>目標年度(目標値)</th> <th>差額(B)-(A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">① 手段</td> <td>活動指標(事務事業の活動量を表す指標)</td> <td>使用料調定件数</td> <td>ア 件</td> <td>499,212</td> <td>500,590</td> <td>505,977</td> <td>512,624</td> <td>507,129</td> <td>6647</td> </tr> <tr> <td></td> <td>汚水認定処理延べ件数</td> <td>イ 件</td> <td>173</td> <td>201</td> <td>189</td> <td>194</td> <td>183</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">② 対象</td> <td>対象指標(対象の大きさを表す指標)</td> <td>接続世帯数</td> <td>ア 世帯</td> <td>35,482</td> <td>35,798</td> <td>36,402</td> <td>36,840</td> <td>36,840</td> <td>438</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">③ 意図</td> <td>成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</td> <td>徴収金額</td> <td>ア 円</td> <td>977,918,676</td> <td>973,675,312</td> <td>976,176,509</td> <td>986,921,725</td> <td>972,372,000</td> <td>10745216</td> </tr> <tr> <td></td> <td>徴収率</td> <td>イ %</td> <td>98.86</td> <td>98.98</td> <td>99.99</td> <td>99.05</td> <td>100</td> <td>-0.94</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">④ 結果</td> <td>上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</td> <td>放流水質のBOD値(水質汚濁量)</td> <td>ア mg/l</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>雨水整備率(雨水処理面積/計画面積×100)</td> <td>イ %</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>												項目	名称	単位	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決算)(A)	平成28年度(決算見込み)(B)	平成29年度(当初予算)	目標年度(目標値)	差額(B)-(A)	① 手段	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	使用料調定件数	ア 件	499,212	500,590	505,977	512,624	507,129	6647		汚水認定処理延べ件数	イ 件	173	201	189	194	183	5	② 対象	対象指標(対象の大きさを表す指標)	接続世帯数	ア 世帯	35,482	35,798	36,402	36,840	36,840	438			イ						0	③ 意図	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	徴収金額	ア 円	977,918,676	973,675,312	976,176,509	986,921,725	972,372,000	10745216		徴収率	イ %	98.86	98.98	99.99	99.05	100	-0.94	④ 結果	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	放流水質のBOD値(水質汚濁量)	ア mg/l						0		雨水整備率(雨水処理面積/計画面積×100)	イ %						0																																																																																																																																																																												
項目	名称	単位	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決算)(A)	平成28年度(決算見込み)(B)	平成29年度(当初予算)	目標年度(目標値)	差額(B)-(A)																																																																																																																																																																																																																																																																				
① 手段	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	使用料調定件数	ア 件	499,212	500,590	505,977	512,624	507,129	6647																																																																																																																																																																																																																																																																				
		汚水認定処理延べ件数	イ 件	173	201	189	194	183	5																																																																																																																																																																																																																																																																				
② 対象	対象指標(対象の大きさを表す指標)	接続世帯数	ア 世帯	35,482	35,798	36,402	36,840	36,840	438																																																																																																																																																																																																																																																																				
			イ						0																																																																																																																																																																																																																																																																				
③ 意図	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	徴収金額	ア 円	977,918,676	973,675,312	976,176,509	986,921,725	972,372,000	10745216																																																																																																																																																																																																																																																																				
		徴収率	イ %	98.86	98.98	99.99	99.05	100	-0.94																																																																																																																																																																																																																																																																				
④ 結果	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	放流水質のBOD値(水質汚濁量)	ア mg/l						0																																																																																																																																																																																																																																																																				
		雨水整備率(雨水処理面積/計画面積×100)	イ %						0																																																																																																																																																																																																																																																																				
<p>(3) 事務事業コストの推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単位</th> <th>平成25年度(決算)</th> <th>平成26年度(決算)</th> <th>平成27年度(決算)(A)</th> <th>平成28年度(決算見込み)(B)</th> <th>平成29年度(当初予算)</th> <th>目標年度(目標値)</th> <th>差額(B)-(A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">支出内訳</td> <td>正規職員従事人数</td> <td>人</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td>672</td> <td>672</td> <td>672</td> <td>672</td> <td>672</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>正規職員人件費計(C)</td> <td>千円</td> <td>3,360</td> <td>3,360</td> <td>3,360</td> <td>3,360</td> <td>3,360</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>再任用職員従事人数</td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>再任用職員人件費計(D)</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>嘱託職員従事人数</td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>嘱託職員人件費計(E)</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>人に係るコスト計(F)</td> <td>千円</td> <td>3,360</td> <td>3,360</td> <td>3,360</td> <td>3,360</td> <td>3,360</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">物に係るコスト</td> <td>物件費</td> <td>千円</td> <td>96,984</td> <td>100,815</td> <td>94,132</td> <td>111,352</td> <td>114,566</td> <td>17,220</td> </tr> <tr> <td>うち委託料</td> <td>千円</td> <td>96,984</td> <td>100,815</td> <td>94,132</td> <td>111,352</td> <td>111,352</td> <td>17,220</td> </tr> <tr> <td>維持補修費</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>物に係るコスト計(G)</td> <td>千円</td> <td>96,984</td> <td>100,815</td> <td>94,132</td> <td>111,352</td> <td>114,566</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">移転支的コスト</td> <td>扶助費</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>補助費等</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>移転支的コスト計(H)</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>支出計(I)=(F)+(G)+(H)</td> <td>千円</td> <td>100,344</td> <td>104,175</td> <td>97,492</td> <td>114,712</td> <td>117,926</td> <td>0</td> <td>17,220</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">収入内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>都支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>分担金及び負担金</td> <td>千円</td> <td>977,919</td> <td>973,675</td> <td>976,177</td> <td>986,922</td> <td>980,319</td> <td>10,745</td> </tr> <tr> <td>使用料及び手数料</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>収入計(J)</td> <td>千円</td> <td>977,919</td> <td>973,675</td> <td>976,177</td> <td>986,922</td> <td>980,319</td> <td>0</td> <td>10,745</td> </tr> <tr> <td>収支差額(K)=(J)-(I)</td> <td>千円</td> <td>877,575</td> <td>869,500</td> <td>878,685</td> <td>872,210</td> <td>862,393</td> <td>0</td> <td>-6,475</td> </tr> <tr> <td>一般財源投入割合</td> <td>%</td> <td>-875%</td> <td>-835%</td> <td>-901%</td> <td>-760%</td> <td>-731%</td> <td>#DIV/0!</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												項目	単位	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決算)(A)	平成28年度(決算見込み)(B)	平成29年度(当初予算)	目標年度(目標値)	差額(B)-(A)	支出内訳	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	0	延べ業務時間	時間	672	672	672	672	672	0	正規職員人件費計(C)	千円	3,360	3,360	3,360	3,360	3,360	0	再任用職員従事人数	人						0	延べ業務時間	時間						0	再任用職員人件費計(D)	千円	0	0	0	0	0	0	嘱託職員従事人数	人						0	延べ業務時間	時間						0	嘱託職員人件費計(E)	千円	0	0	0	0	0	0	人に係るコスト計(F)	千円	3,360	3,360	3,360	3,360	3,360	0	物に係るコスト	物件費	千円	96,984	100,815	94,132	111,352	114,566	17,220	うち委託料	千円	96,984	100,815	94,132	111,352	111,352	17,220	維持補修費	千円						0	物に係るコスト計(G)	千円	96,984	100,815	94,132	111,352	114,566	0	移転支的コスト	扶助費	千円						0	補助費等	千円						0	繰入金	千円						0	その他	千円						0	移転支的コスト計(H)	千円	0	0	0	0	0	0	その他	千円							0	支出計(I)=(F)+(G)+(H)	千円	100,344	104,175	97,492	114,712	117,926	0	17,220	収入内訳	国庫支出金	千円						0	都支出金	千円						0	分担金及び負担金	千円	977,919	973,675	976,177	986,922	980,319	10,745	使用料及び手数料	千円						0	繰入金	千円						0	その他	千円						0	収入計(J)	千円	977,919	973,675	976,177	986,922	980,319	0	10,745	収支差額(K)=(J)-(I)	千円	877,575	869,500	878,685	872,210	862,393	0	-6,475	一般財源投入割合	%	-875%	-835%	-901%	-760%	-731%	#DIV/0!	
項目	単位	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決算)(A)	平成28年度(決算見込み)(B)	平成29年度(当初予算)	目標年度(目標値)	差額(B)-(A)																																																																																																																																																																																																																																																																					
支出内訳	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	0																																																																																																																																																																																																																																																																					
	延べ業務時間	時間	672	672	672	672	672	0																																																																																																																																																																																																																																																																					
	正規職員人件費計(C)	千円	3,360	3,360	3,360	3,360	3,360	0																																																																																																																																																																																																																																																																					
	再任用職員従事人数	人						0																																																																																																																																																																																																																																																																					
	延べ業務時間	時間						0																																																																																																																																																																																																																																																																					
	再任用職員人件費計(D)	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																					
	嘱託職員従事人数	人						0																																																																																																																																																																																																																																																																					
	延べ業務時間	時間						0																																																																																																																																																																																																																																																																					
	嘱託職員人件費計(E)	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																					
	人に係るコスト計(F)	千円	3,360	3,360	3,360	3,360	3,360	0																																																																																																																																																																																																																																																																					
物に係るコスト	物件費	千円	96,984	100,815	94,132	111,352	114,566	17,220																																																																																																																																																																																																																																																																					
	うち委託料	千円	96,984	100,815	94,132	111,352	111,352	17,220																																																																																																																																																																																																																																																																					
	維持補修費	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																					
物に係るコスト計(G)	千円	96,984	100,815	94,132	111,352	114,566	0																																																																																																																																																																																																																																																																						
移転支的コスト	扶助費	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																					
	補助費等	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																					
	繰入金	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																					
	その他	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																					
移転支的コスト計(H)	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																						
その他	千円							0																																																																																																																																																																																																																																																																					
支出計(I)=(F)+(G)+(H)	千円	100,344	104,175	97,492	114,712	117,926	0	17,220																																																																																																																																																																																																																																																																					
収入内訳	国庫支出金	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																					
	都支出金	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																					
	分担金及び負担金	千円	977,919	973,675	976,177	986,922	980,319	10,745																																																																																																																																																																																																																																																																					
	使用料及び手数料	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																					
	繰入金	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																					
	その他	千円						0																																																																																																																																																																																																																																																																					
	収入計(J)	千円	977,919	973,675	976,177	986,922	980,319	0	10,745																																																																																																																																																																																																																																																																				
収支差額(K)=(J)-(I)	千円	877,575	869,500	878,685	872,210	862,393	0	-6,475																																																																																																																																																																																																																																																																					
一般財源投入割合	%	-875%	-835%	-901%	-760%	-731%	#DIV/0!																																																																																																																																																																																																																																																																						

2 評価の部(CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

公共関与性評価	① 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【以下に理由を記入】 下水道使用料により下水道事業は維持管理・運営されており、その徴収に関する事務であるため。																
有効性評価	② 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【以下に理由を記入】 徴収率の向上。ただし徴収に関しては水道料金とあわせて行っており、東京都へ委託している。そのため、徴収率の向上のためにできることは、その徴収状況についてはチェックを行い、場合によっては要望を出すということとなる。																
	③ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 下水道事業は下水道使用料を財源として運営されているため、当該事業の廃止はできない。																
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【以下に理由を記入】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【以下に理由を記入】 類似事業はない。																
活動指標・対象指標・成果指標の推移、公共関与性評価、有効性評価から見たこの事務事業の課題は?																		
特になし																		
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地・歳入の確保余地	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費削減(歳入確保)余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input type="checkbox"/> 事業費削減(歳入確保)余地がない ⇒【以下に理由を記入】 東京都水道局に経費削減を要望していく。																
公平性評価	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【以下に理由を記入】 平成21年度より東京都へ水道事業が返還され、現在市役所内にある水道業務の窓口が東京都水道局へ移ったことで、情報の伝達に時間をとられている。また、使用料収入という下水道事業の要であり、正職員以外の人員で行うことは考えにくい。																
	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【以下に理由を記入】 利用者から下水道使用料を徴収しているため公平である。料金の累進課税という制度についても、一度に多くの排水を流出させると下水道管への負担も大きいことから公平な負担である。																
事務事業コスト、効率性評価、公平性評価から見たこの事務事業の課題は?																		
特になし																		
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(ACTION)																		
(1) 担当課評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																
<p>① 公共関与と妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p>																		
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・具体的に記載		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		これまでも東京都水道局に経費削減を要望してきたが、引き続き要望していく。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		削減	維持	増加	向上				維持	○		×	低下		×	×
	削減	維持	増加															
向上																		
維持	○		×															
低下		×	×															
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策																		
東京都水道局に委託するしかない事業のため、改革、改善は、難しい。																		
(6) <目標達成基準、見直し・廃止基準>この事業はどのような状態となれば目標が達成されたこととなりますか。また、見直し・廃止となりますか?																		

評価実施 平成 29 年度	事務事業マネジメントシート(兼 事務事業コスト計算書)										
事務事業名	No. 8	水洗化の普及促進事業				←実施計画上の重点項目 重点施策に該当する場合、ここから該当項目を選択してください					
政策名	No. 7	7都市基盤				所属部	都市整備部	所属課	道路下水道課		
施策名	No. 25	基本施策25 下水道の整備・維持・更新				所属係	下水道業務係	主幹名	蛭谷 常久		
予算科目	会計	科目	項目	目	事業コード	法令根拠	下水道法第10条 第11条の3				
事業期間	単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返		期間限定複数年度		→ ( 年度 ~ 年度 )				
事務事業の概要(事業の具体的な手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						この事業を開始した経緯(いつ、どのような経緯で開始したか)					
(事務の内容) ・公共下水道未接続世帯を下水道未使用者リストより把握し、訪問による現状調査及び接続の依頼。 ①料金徴収を委託している東京都水道局の料金関係端末より、下水道未使用者リストを作成。 ②下水道未使用者リストより所在地を確認後、訪問する。 ③住んでいる方に了解を取り、現場調査をする。 ④未接続の確認後、公共下水道管への接続を依頼をする。						平成元年から、市内の区域(青柳の一部の地域を除く。)の公共下水道が段階的に供用開始され、一般家庭及び事業所等の水洗便所化が義務化された。供用開始後は、水洗化普及のため、3年間の助成制度等が設けられ水洗化が進んだが、経済的理由等で水洗化を行わなかった一般家庭及び事業所等があったため、本事業を開始した。 裁量性の小さい理由・根拠 法令等により事業の実施が義務付けられている事業					
1 現状把握の部(PPLAN)(DO)											
(1) 事務事業の目的と指標											
① 手段:平成28年度の実績(平成28年度に行った主な活動を具体的に記載)											
①下水道未接続リストの作成 ②未接続のお宅へ訪問し、現況確認。 ③公共下水道管への接続依頼。											
① 手段:平成29年度の事業計画(平成29年度に計画している主な活動を具体的に記載)											
前年度と同様											
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)					
市内の公共下水道未接続世帯						市内の公共下水道未接続世帯に公共下水道管へ接続してもらう。					
④結果:基本施策の目的や効果を高めるためのこの事業の貢献度											
・市内全域が浸水被害から守られています ・多摩川などの公共用水域の良好な水質が維持されています											
(2) 各指標等の推移											
	項目	名称	単位	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決算)(A)	平成28年度(決算見込み)(B)	平成29年度(当初予算)	目標年度(目標値)	差額(B)-(A)	
① 手段	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	訪問による現状調査数	ア 件	71	71	64	61	61		-3	
		訪問による接続の依頼数	イ 件	10	2	1	0	5		-1	
② 対象	対象指標(対象の大きさを表す指標)	市内の公共下水道未接続世帯数	ア 世帯	71	71	64	61	61		-3	
			イ %	99.8	99.8	99.8	99.8	99.8		0	
③ 意図	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	接続率(未接続世帯/接続世帯)	ア %							0	
			イ %							0	
④ 結果	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	雨水整備率(雨水処理面積/計画面積)	ア %							0	
		雨天時放流水質のBOD値	イ mg/l							0	
(3) 事務事業コストの推移											
	項目	単位	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決算)(A)	平成28年度(決算見込み)(B)	平成29年度(当初予算)	目標年度(目標値)	差額(B)-(A)		
支出内訳	人に係るコスト	正規職員従事人数	人	2	1					0	
		延べ業務時間	時間	1,350	12						
		正規職員人件費計(C)	千円	6,750	60	0	0	0	0	0	
		再任用職員従事人数	人	1	1	1	1	1			
		延べ業務時間	時間	750	750	200	200	200			
		再任用職員人件費計(D)	千円	1,500	1,500	400	400	400	0	0	
	物に係るコスト	嘱託職員従事人数	人			1	1	1			
		延べ業務時間	時間			200	200	200			
		嘱託職員人件費計(E)	千円	0	0	300	300	300	0	0	
		人に係るコスト計(F)	千円	8,250	1,560	700	700	700	0	0	
		物件費	千円								
		うち委託料	千円								
移転支的コスト	維持補修費	千円									
	物に係るコスト計(G)	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	扶助費	千円									
	補助費等	千円									
	繰入金	千円									
	その他	千円									
収入内訳	移転支的コスト計(H)	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	その他	千円									
	支出計(I)=(F)+(G)+(H)	千円	8,250	1,560	700	700	700	0	0		
	国庫支出金	千円									
	都支出金	千円									
	分担金及び負担金	千円									
使用料及び手数料	千円										
繰入金	千円										
その他	千円										
収入計(J)	千円	0	0	0	0	0	0	0			
収支差額(K)=(J)-(I)	千円	-8,250	-1,560	-700	-700	-700	0	0			
一般財源投入割合	%	100%	100%	100%	100%	100%	#DIV/0!				

2 評価の部(CHECK) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

公共関係と性評価	① 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【以下に理由を記入】 なぜこの事業を行政が行わなければならないのか?税金を使う必要があるか、民間や受益者ができる事業か?かつ、行政が行うとした場合、国・都が行う事業か、それとも市が行う事業か?																
有効性評価	② 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【以下に理由を記入】 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?																
	③ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?(そもそも、この事業は、施策の目的や公益の増進に役立っているか?)																
効率的性評価	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【以下に理由を記入】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【以下に理由を記入】 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法は?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?																
	⑤ 事業費の削減余地・歳入の確保余地	<input type="checkbox"/> 事業費削減(歳入確保)余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費削減(歳入確保)余地がない ⇒【以下に理由を記入】 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) さらなる歳入を確保できないか?																
公平性評価	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【以下に理由を記入】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)																
	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【以下に理由を記入】 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?																
活動指標・対象指標・成果指標の推移、公共関係と性評価、有効性評価から見たこの事務事業の課題は?																		
特に無し。																		
事務事業コスト、効率的性評価、公平性評価から見たこの事務事業の課題は?																		
特に無し。																		
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(ACTION)																		
(1) 担当課評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																
① 公共関与と妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率的性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	住宅密集地にも未接続世帯が混在しているため、生活環境の向上を図るため早期に改善したい。しかし、家屋の老朽化および経済的理由により水洗化にできない世帯がほとんどであるため、粘り強く交渉を行う。																	
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・具体的に記載		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率的性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持		○	×	低下	×		×
	削減	維持	増加															
向上																		
維持		○	×															
低下	×		×															
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策																		
長期間宅地の中で汚物を蓄えておくと環境衛生上に問題がある。しかし、未接続世帯の大半が家屋の老朽化および経済的理由であるため粘り強く交渉を行う。																		
(6) <目標達成基準、見直し・廃止基準>この事業はどのような状態となれば目標が達成されたこととなりますか。また、見直し・廃止となりますか?																		



評価実施 平成 29 年度 **事務事業マネジメントシート (兼 事務事業コスト計算書)**

事務事業名	No. 9 排水設備施工検査事業		←実施計画上の重点項目 重点施策に該当する場合、ここから該当項目を選択してください	
政策名	No. 7	7 都市基盤	所属部	都市整備部
施策名	No. 25	基本施策25 下水道の整備・維持・更新	所属課	道路下水道課
予算科目	会計	科目	事業コード	法令根拠
事業期間	単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	下水道法第10条 第11条第3項 第13条 下水道条例第3条他	

**事務事業の概要(事業の具体的な手順・詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)**

この事業を開始した経緯(いつ、どのような経緯で開始したか)

・国立市指定下水道工事店の申請受付から指定店証交付事務及び責任技術者の申請登録事務。  
 ・宅地内からの下水を公共下水道管に流入させるために必要な排水管、排水きよ、その他の排水施設が法、条例、要綱の基準に適合しているかどうかを申請図面により確認し、工事終了後に竣工図面に基づき現場において確認を行う。  
 (事務の内容)  
 ・希望事業者から国立市指定下水道工事店の申請を受付後、書類を確認し、不備がなければ指定店証を交付  
 ・責任技術者の申請を受付、登録を行う。また、国立市指定下水道工事店で責任技術者を追加・更新する場合に申請を受付、登録を行う。  
 ・国立市指定下水道工事店から申請図面を受付、要綱より審査を行う。要綱に則っていない場合は、修正指導を行う。そして、工事終了後に竣工図面に基づき現場検査を行う。図面と現場が異なる場合は、図面の変更または手直しを指導する。  
 また、現場検査しながら、無届けで施工されている工事がなければ把握し、発見した場合は申請を出すように指導する。  
 (事業費) 消耗品費

**1 現状把握の部(PPLAN)(DO)**

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段: 平成28年度の実績(平成28年度に行った主な活動を具体的に記載)  
 ・指定下水道工事店申請受付(新規・更新)  
 ・責任技術者登録(新規・更新)  
 ・宅内排水設備工事申請受付、宅内排水設備の完了検査、無届け工事に対する指導  
 ① 手段: 平成29年度の事業計画(平成29年度に計画している主な活動を具体的に記載)  
 前年度と同様

② 対象(誰、何を対象にしているのか) \* 人や自然資源等  
 ア) 都内に営業店のある下水道工事店  
 イ) 新築・造改築・建替えを行う公共下水道利用世帯

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)  
 ア) 国立市の指定下水道工事店に迅速に指定される。  
 イ) 宅内排水設備が不具合なく使用できる。

④ 結果: 基本施策の目的や効果を高めるためのこの事業の貢献度  
 ・市内全域が浸水被害から守られています。  
 ・多摩川などの公共用水域の良好な水質が維持されています。

(2) 各指標等の推移

項目	名称	単位	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決算)(A)	平成28年度(決算見込み)(B)	平成29年度(当初予算)	目標年度(目標値)	差額(B)-(A)
① 手段	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	指定下水道工事店受付件数(新規・更新)	41	56	66	63	57		-3
		排水設備工事完了検査数	425	332	339	295	350		-44
② 対象	対象指標(対象の大きさを表す指標)	指定下水道工事店受付件数(新規・更新)	41	56	66	63	57		-3
		排水設備工事計画確認申請書受付件数	297	314	368	286	350		-82
③ 意図	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	指定下水道工事店数	224	223	227	242	242		15
		申請受付から指定店証発行までに要す	4	10	10	10	10		0
④ 結果	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	雨水整備率(雨水処理面積/計画面積)							0
		雨天時放流水質のBOD値							0

(3) 事務事業コストの推移

項目	単位	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決算)(A)	平成28年度(決算見込み)(B)	平成29年度(当初予算)	目標年度(目標値)	差額(B)-(A)	
支出内訳	正規職員従事人数	人	2	1	1	1	1	0	
	延べ業務時間	時間	1,350	675	260	260	260	0	
	正規職員人件費計(C)	千円	6,750	3,375	1,300	1,300	1,300	0	
	再任用職員従事人数	人		1	1	1	1	0	
	延べ業務時間	時間		500	800	800	800	0	
	再任用職員人件費計(D)	千円	0	1,000	1,600	1,600	1,600	0	
	嘱託職員従事人数	人				1	1	0	
	延べ業務時間	時間				800	800	0	
	嘱託職員人件費計(E)	千円	0	0	1,200	1,200	1,200	0	
	人に係るコスト計(F)	千円	6,750	4,375	4,100	4,100	4,100	0	
物に係るコスト	物件費	千円						0	
	うち委託料	千円						0	
	維持補修費	千円						0	
物に係るコスト計(G)		千円	0	0	0	0	0	0	
移転支的コスト	扶助費	千円						0	
	補助費等	千円						0	
	繰入金	千円						0	
	その他	千円						0	
移転支的コスト計(H)		千円	0	0	0	0	0	0	
その他	その他	千円						0	
	支出計(I)=(F)+(G)+(H)		千円	6,750	4,375	4,100	4,100	4,100	0
	収入計(J)		千円						0
収入内訳	国庫支出金	千円						0	
	都支出金	千円						0	
	分担金及び負担金	千円						0	
使用料及び手数料		千円						0	
繰入金		千円						0	
その他		千円						0	
収入計(J)		千円	0	0	0	0	0	0	
収支差額(K)=(J)-(I)		千円	-6,750	-4,375	-4,100	-4,100	-4,100	0	
一般財源投入割合		%	100%	100%	100%	100%	100%	#DIV/0!	

2 評価の部(CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

公共関与性評価

① 公共関与の妥当性  
 見直し余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映  
 妥当である ⇒【以下に理由を記入】  
 なぜこの事業を行政が行わなければならないのか?税金を使う必要があるか、民間や受益者ができる事業か?かつ、行政が行うとした場合、国・都が行う事業か、それとも市が行う事業か?  
 公共下水道管を維持管理しているのは行政である。このため、排水設備が関係法令に基づき適正に設置されていないと宅地内の管のつまりや悪臭の原因または管渠の損傷につながり使用者に悪影響を及ぼす恐れがあるため市が行う事業である。

② 成果の向上余地  
 向上余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映  
 向上余地がない ⇒【以下に理由を記入】  
 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?  
 指定工事店の認定は事業者の資料が全て揃ってれば概ね迅速に認定されている。事業者の資料が全て整わないこともあるため、事業所にはチェックリストを示して資料を整えるようにしてもらえれば、より迅速化が可能となると思われる。また、確認申請を受けた工事は年度をまたぐことはあるが全て完了検査を行い、検査には合格できている。

③ 廃止・休止の成果への影響  
 影響無 ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映  
 影響有 ⇒【その内容】  
 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?(そもそも、この事業は、施策の目的や公益の増進に役立っているか?)  
 この事業があることによって、宅地内でトラブル(詰まり、臭い等)があった場合に、提出図面を参照に現場で適切な指導ができています。よって、この事業を廃止・休止した場合には影響が大きい。

④ 類似事業との統廃合・連携の可能性  
 他に手段がある (具体的な手段、事務事業)  
 統廃合・連携ができる ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映  
 統廃合・連携ができない ⇒【以下に理由を記入】  
 他に手段がない ⇒【以下に理由を記入】  
 この事業があることによって、宅地内でトラブル(詰まり、臭い等)があった場合に、提出図面を参照に現場で適切な指導ができています。よって、この事業を廃止・休止した場合には影響が大きい。  
 水道の給水開始の際には届け出が出てくるため、既にその情報を把握することで無届けの確認は行っており、これ以上の連携は難しい。

活動指標・対象指標・成果指標の推移、公共関与性評価、有効性評価から見たこの事務事業の課題は?  
 特になし

⑤ 事業費の削減余地・歳入の確保余地  
 事業費削減(歳入確保)余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映  
 事業費削減(歳入確保)余地がない ⇒【以下に理由を記入】  
 事業費は、消耗品として必要最低限の経費のため、これ以上の削減は、難しい。

⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地  
 削減余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映  
 削減余地がない ⇒【以下に理由を記入】  
 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げるにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)  
 25年度より、正規職員1名・再任用1名の体制を26年度から、再任用1名・嘱託1名の体制となったが、実情として難しいため正規職員も携わり事業を行っているため、これ以上の削減余地はない。

⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地  
 見直し余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映  
 公平・公正である ⇒【以下に理由を記入】  
 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか?成果を下げるにより受益者負担が公平・公正になっているか?  
 指定下水道工事店は申請登録料(新規10,000円、更新5,000円、証明書交付の申請200円、指定証の再交付の申請5,000円、責任者登録3,000円)をいただいている。他市も同様の水準であり、公平である。公共下水道利用者には上水道使用量に基づき下水道料金を支払っていただいているため、検査のみで自己負担を求める必要はない。

事務事業コスト、効率性評価、公平性評価から見たこの事務事業の課題は?  
 特になし

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(ACTION)

(1) 担当課評価者としての評価結果

① 公共関与と妥当性  適切  見直し余地あり  
 ② 有効性  適切  見直し余地あり  
 ③ 効率性  適切  見直し余地あり  
 ④ 公平性  適切  見直し余地あり

(2) 全体総括(振り返り、反省点)  
 国立市の指定下水道工事店の指定については、現在のところ指定下水道工事店が徐々に増えている傾向の中で、ある程度迅速に指定は出来ている。今後は、登録に必要な書類を事業者が完全に揃えてもらうように出来ればより迅速な対応が可能となる。また、指定期間の長期化や申請の受付作業の効率を向上させることが必要である。また、宅内排水設備の検査については、現在のところ検査合格率100%であり、適正な接続が可能となっており、今後も継続的に検査を行っていく。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・具体的に記載  
 事業のやり方改善(有効性改善)  事業のやり方改善(効率性改善)  事業のやり方改善(公平性改善)  
 事業統廃合・連携  縮小  休止  廃止  
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)  
 ・申請の電子化による受付業務の簡略化を進める。  
 ・指定期間の長期化検討

(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)  
 コスト  
 削減 維持 増加  
 向上 〇 ×  
 維持 〇 ×  
 低下 × ×

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策  
 電子化については、個人情報流出の危険性及びその費用対効果の検証が課題である。

(6) <目標達成基準、見直し・廃止基準>この事業はどのような状態となれば目標が達成されたことになりえますか。また、見直し・廃止となりますか?

評価実施 平成 29 年度	事務事業マネジメントシート(兼 事務事業コスト計算書)									
事務事業名	No. 10	雨水浸透ます設置助成事業		←実施計画上の重点項目 重点施策に該当する場合、ここから該当項目を選択してください						
政策名	No. 7	7 都市基盤		所属部	都市整備部	所属課	道路下水道課			
施策名	No. 25	基本施策25 下水道の整備・維持・更新		所属係	下水道業務係	主幹名	蛭谷 常久			
予算科目	会計	款	項	目	事業コード	法令根拠	国立市雨水浸透ます設置助成金交付要綱			
事業期間	単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返		期間限定複数年度 (平成6 年度 ~ 年度)					
事務事業の概要(事業の具体的な手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)										
①既存住宅又は併用住宅に設置する家屋の所有者へ補助金を交付する。 ②下水道への雨水流入軽減と地下水、湧水の保全及び回復に資する。 (事務内容) ①1.設置希望者から国立市指定下水道工事店を通して雨水浸透ます設置助成金交付申請書を受付→2.申請書の確認→3.設置予定現場の確認 ②①で内容確認後決定通知書の交付作業。 ③雨水浸透ます設置工事日に立会い検査を行う。 ④1.雨水浸透ます設置工事完了→2.設置業者より完了届を受付→3.完了届に不備がなければ助成金の交付。										
この事業を開始した経緯(いつ、どのような経緯で開始したか)										
裁量性の小さい理由・根拠 法令等により事業の実施が義務付けられている事業										
1 現状把握の部(PLAN)(DO)										
(1)事務事業の目的と指標										
①手段:平成28年度の実績(平成28年度に行った主な活動を具体的に記載)										
①雨水浸透ます設置の受付事務 ②雨水浸透ます設置工事の現場立会いと現場検査										
①手段:平成29年度の事業計画(平成29年度に計画している主な活動を具体的に記載) 前年度と同様										
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 個人又は法人(地方公共団体等)が所有する既存住宅又は併用住宅(新築増改築又は仮設された水循環がなされ、下水道へ雨水流入が軽減される。										
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)										
④結果:基本施策の目的や効果を高めるためのこの事業の貢献度 ●市内全域が浸水被害から守られています ●多摩川などの公共用水域の良好な水質が維持されています										
(2)各指標等の推移										
項目	名称	単位	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決算)(A)	平成28年度(決算見込み)(B)	平成29年度(当初予算)	目標年度(目標値)	差額(B)-(A)	
① 手段	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	雨水浸透ます設置助成金交付申請受付	件	1	2	1	1	7	0	
									0	
② 対象	対象指標(対象の大きさを表す指標)	雨水浸透ます設置助成金交付申請件数	件	1	2	1	1	7	0	
									0	
③ 意図	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	浸透ます設置基数	基	2	8	4	1	14	-3	
		検査合格率(検査合格数/申請件数)	%	100	100	100	100	100	0	
④ 結果	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	雨水整備率(雨水処理面積/計画面積)	%						0	
		雨天時放流水質のBOD値	イ						0	
(3)事務事業コストの推移										
項目	単位	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決算)(A)	平成28年度(決算見込み)(B)	平成29年度(当初予算)	目標年度(目標値)	差額(B)-(A)		
支出内訳	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	0		
	延べ業務時間	時間	20	10	10	10	10	0		
	正規職員人件費計(C)	千円	100	50	50	50	50	0		
	再任用職員従事人数	人		1	1	1	1	0		
	延べ業務時間	時間		10	10	10	10	0		
	再任用職員人件費計(D)	千円	0	20	20	20	20	0		
	嘱託職員従事人数	人						0		
	延べ業務時間	時間						0		
	嘱託職員人件費計(E)	千円	0	0	0	0	0	0		
	人に係るコスト計(F)	千円	100	70	70	70	70	0		
物に係るコスト	物件費	千円						0		
	うち委託料	千円						0		
	維持補修費	千円						0		
物に係るコスト計(G)	千円	0	0	0	0	0	0			
移転支的コスト	扶助費	千円						0		
	補助費等	千円	96	328	116	29	503	-87		
	繰入金	千円						0		
	その他	千円						0		
移転支的コスト計(H)	千円	96	328	116	29	503	-87			
その他	千円							0		
支出計(I)=(F)+(G)+(H)	千円	196	398	186	99	573	0	-87		
収入内訳	国庫支出金	千円						0		
	都支出金	千円						0		
	分担金及び負担金	千円						0		
	使用料及び手数料	千円						0		
	繰入金	千円						0		
	その他	千円						0		
	収入計(J)	千円	0	0	0	0	0	0	0	
収支差額(K)=(J)-(I)	千円	-196	-398	-186	-99	-573	0	87		
一般財源投入割合	%	100%	100%	100%	100%	100%	#DIV/0!			

2 評価の部(CHECK)\*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

公共関与性評価	①公共関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【以下に理由を記入】 自然環境の向上は生活環境に繋がり、公共性の高い事業である。
有効性評価	②成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【以下に理由を記入】 市報及びイベントによる広報活動、自治会、下水道工事店へ促進のお願いは既に行っているが、助成対象に新築、増築物件も加えることは、成果の向上余地がある。
	③廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 制度があることにより、自然環境の向上や浸水の防除につながっていると考えられるため廃止・休止はできない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【以下に理由を記入】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【以下に理由を記入】 庁内に類似事業は無い。
	⑤事業費の削減余地・歳入の確保余地	<input type="checkbox"/> 事業費削減(歳入確保)余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費削減(歳入確保)余地がない ⇒【以下に理由を記入】 必要最低限であるため削減余地なし。
効率性評価	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【以下に理由を記入】 最低限の人員で事業を行っているため削減余地なし。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【以下に理由を記入】 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 現在は雨水浸透ます設置助成金交付対象は、既存の建築物と限定されているため、新築住宅においては適用外である。このため、一部の受益者に偏っていて不公平と考えられる。
活動指標・対象指標・成果指標の推移、公共関与性評価、有効性評価から見たこの事務事業の課題は? 申請件数が少なく成果が上げられないため、さらなるPRが必要である。		
事務事業コスト、効率性評価、公平性評価から見たこの事務事業の課題は? 特に無し		
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(ACTION)		
(1)担当課評価者としての評価結果		(2)全体総括(振り返り、反省点) 雨水浸透ます設置助成事業と公共用水域の水質汚濁防止ができる合流改善を合わせて検討していく。
①公共関与妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
(3)今後の事業の方向性(改革改善案)・・・具体的に記載 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 雨水浸透ます設置助成制度について、年々、申請件数が減少傾向なので助成対象を変えていく。合流改善と合わせて事業を行うことにより事業の改革を行う。		(4)改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向上 ○ 維持 × 低下 ×
(5)改革、改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策		
(6)＜目標達成基準、見直し・廃止基準＞この事業はどのような状態となれば目標が達成されたこととなりますか。また、見直し・廃止となりますか?		